

# インストール手順書

オムロン株式会社

## [目次]

|       |                              |    |
|-------|------------------------------|----|
| 1     | はじめに.....                    | 2  |
| 2     | 動作環境.....                    | 2  |
| 3     | Virtual PC について.....         | 3  |
| 3-1   | Virtual PC とは.....           | 3  |
| 3-2   | Virtual PC のドライブについて.....    | 4  |
| 4     | Virtual PC 2004 のインストール..... | 5  |
| 4-1   | 無償ダウンロードサービス版によるインストール.....  | 5  |
| 4-2   | CD メディア製品版によるインストール.....     | 9  |
| 5     | DOS のインストール.....             | 16 |
| 5-1   | DOS 用バーチャルマシンの作成.....        | 16 |
| 5-2   | DOS のインストール.....             | 21 |
| 5-2-1 | PC DOS のインストール.....          | 21 |
| 5-2-2 | MS DOS のインストール.....          | 31 |
| 5-3   | DOS の起動・終了.....              | 39 |
| 5-3-1 | DOS の起動.....                 | 39 |
| 5-3-2 | DOS の終了.....                 | 40 |
| 5-3-3 | DOS 操作上の注意.....              | 40 |
| 5-4   | Virtual PC 追加機能のインストール.....  | 41 |
| 5-5   | DOS の設定.....                 | 45 |
| 5-5-1 | PLC と通信するための設定.....          | 45 |
| 5-5-2 | 印刷設定.....                    | 47 |
| 5-5-3 | ホストパソコンとファイル共有するための設定.....   | 48 |
| 6     | SYSMAC サポートソフトのインストール.....   | 51 |
| 7     | 制約事項.....                    | 57 |

## 1 はじめに

本手順書は、WindowsXP Professional等の上で動作する仮想パソコン (Microsoft Virtual PC 2004 以下Virtual PC)に対応したSYSMACサポートソフトVer.1.23のインストール手順書です。仮想パソコンのソフトウェアであるVirtual PCとDOSのインストール手順および設定、そしてSYSMACサポートソフトのインストール手順を、順を追って説明します。

なお、SYSMACサポートソフトをWindowsXP等の上で動作させるためには、Virtual PCとMS DOSもしくはPC DOSが必要となります。Virtual PCの詳細につきましては、Virtual PCに添付の取扱説明書・マニュアル等をご参照ください。

## 2 動作環境

WindowsXP上にVirtual PCをインストールして、仮想OSとしてDOSを使用する場合、以下のシステム条件が必要とされます。

|          |                                                         |
|----------|---------------------------------------------------------|
| プロセッサ    | Athlon, Duron, Celeron, Pentium , Pentium ,<br>Pentium4 |
| 処理速度     | 最低400MHz/推奨1GHz(Virtual PC推奨環境)                         |
| RAM      | 160MB                                                   |
| 空きディスク容量 | 70MB(うちVirtual PC用として20MB)                              |

なお空きディスク容量は、上記以外にホストOSが動作する容量が必要になります。



### 3-2 Virtual PC のドライブについて

- ・ DOS はゲストパソコン上の C ドライブにインストールされています。(ホストパソコンの C ドライブとは別のものです。)
  - ・ ゲストパソコンから、ホストパソコンのフロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ(それぞれ、A ドライブ、E ドライブに割り当てられています。)に直接アクセスすることができます。
  - ・ ゲストパソコンからの、ホストパソコンのハードディスクドライブへのアクセスは、共有フォルダを設定することで可能になります。
  - ・ ホストパソコンからゲストパソコンのドライブにはアクセスできません。
  - ・ またゲストパソコンからホストパソコンのドライブにもアクセスできません。アクセスの切替は DOS ウィンドウのメニュー上から行います。
- 1) ホストパソコンからゲストパソコンへのドライブアクセスの切替は、ホストパソコン上でエクスプローラなどでドライブをアクセスしていないことを確認の上、以下のメニューを選択してください。
    - ・ CD の場合「CD (C) | 物理ドライブ D:の使用」
    - ・ フロッピーの場合「フロッピー (F) | 物理ドライブ A:の制御」
  - 2) ゲストパソコンからホストパソコンへのドライブアクセスの切替は、ゲストパソコンでドライブをアクセスしていないことを確認の上、以下のメニューを選択してください。
    - ・ CD の場合「CD (C) | 物理ドライブ D:を解放」
    - ・ フロッピーの場合「フロッピー (F) | "A"を解放する」

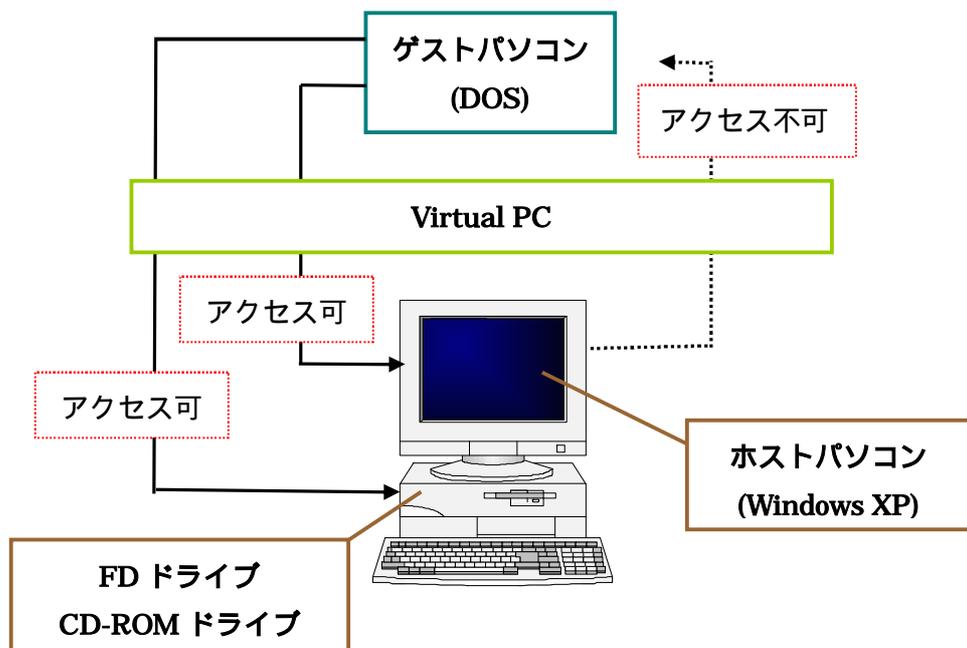


図 3-2 ホストパソコン・ゲストパソコン間のドライブアクセス

以下の章より、インストール及び DOS の設定を次の手順で説明していきます。

- Virtual PC 2004 のインストール
- DOS のインストール
- Virtual PC 追加機能のインストール
- DOS の設定
- SSS のインストール

## 4 Virtual PC 2004 のインストール

Virtual PC 2004 (ServicePack1 付き) は、2006 年 7 月より、マイクロソフト社のサイトより無償ダウンロードサービスが開始されております。

また従来どおり CD メディアによる販売も引き続き行っております。それぞれについてインストール方法を説明します。

### 4-1 . 無償ダウンロードサービス版によるインストール

1. Virtual PC 2004 ServicePack1(以下 SP1)付きのダウンロードを行います。

まず InternetExplorer を起動して、以下の URL のページを開きます。

URL)http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=6D58729D-DFA8-40BF-AFAF-20BCB7F01CD1

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer window displaying the download page for Virtual PC 2004 SP1 in Japanese. The page title is "Virtual PC 2004 SP1 - 日本語". The main content area features a "ダウンロード" (Download) button and a table with the following information:

| このページの内容     |                    |
|--------------|--------------------|
| ファイル名 :      | VPC2004SP1.zip     |
| バージョン :      | 582.27             |
| 公開された日付 :    | 2006/07/12         |
| 言語 :         | 日本語                |
| ダウンロード サイズ : | 18.2 MB            |
| 推定ダウンロード時間 : | ダイヤルアップ (56K) 45 分 |

Below the table, there is a "言語の変更" (Change language) section with a dropdown menu set to "日本語" and a "変更" (Change) button. The page also includes a "簡単な説明" (Brief description) and a "必要システム" (System requirements) section.

2. “ダウンロード” ボタンをクリックします。、VPC2004SP1.ZIP をダウンロードしてください。

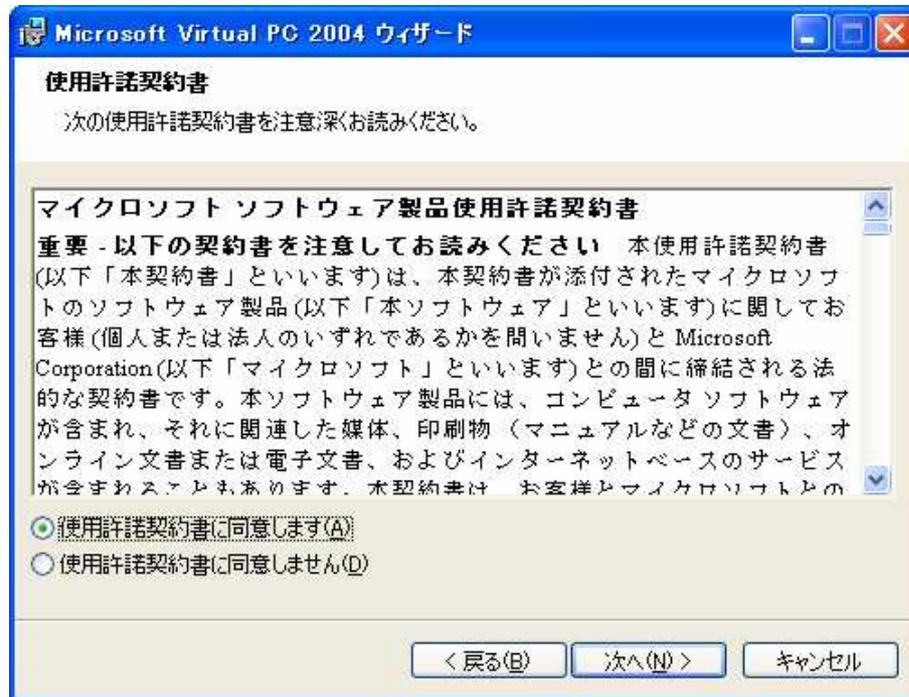
3. 次のダイアログが表示されますので、保存を選択し、ローカルディスクの適当な場所にファイルを保存します。



4. 起動中のアプリケーションを全て終了後、3.で保存したファイルを展開します。  
“VPC 2004SP1.zip” を選択し、右クリックメニューで“全て展開”を選んでください。その後は、Wizard が起動しますので、指示に従ってください。
5. 展開したファイルの中の“Setup.exe” を実行してください。インストールプログラムが起動され、[Microsoft Virtual PC 2004 ウィザード]ダイアログが表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



6. 次のダイアログが表示されます。使用許諾書を読み、[使用許諾契約書に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



7. 次のダイアログが表示されます。ユーザ名、所属を入力します。このアプリケーションを、全ユーザが使用するか、ログオンしている現在のユーザのみが使用するかのいずれかを選択します。[次へ]ボタンをクリックします。



8. 次のダイアログが表示されます。[インストール(I)]ボタンをクリックします。



9. インストールを開始します。
10. インストールが完了すると、次のダイアログが表示されますので、[完了]ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

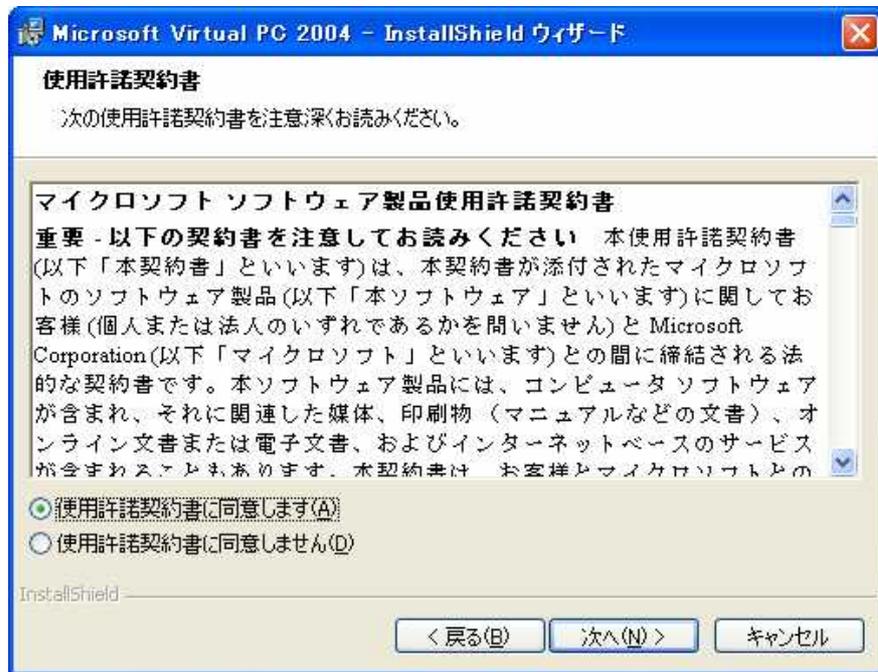


## 4-2 . CD メディア製品版によるインストール

1. Virtual PC 2004 for Windows のインストールディスクを、パソコンの CD-ROM ドライブにセットします。 インストールプログラムが自動的に起動され、[Microsoft Virtual PC 2004 InstallShield ウィザード]ダイアログが表示されます。  
[次へ]ボタンをクリックします。



2. 次のダイアログが表示されます。使用許諾書を読み、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



3. 次のダイアログが表示されます。ユーザ名、所属、シリアル番号を入力します。シリアル番号は、付属の”ユーザ登録カード”に記述されています。このアプリケーションを、全ユーザが使用するか、ログオンしている現在のユーザのみが使用するかのいずれかを選択します。[次へ]ボタンをクリックします。



4. 次のダイアログが表示されます。[インストール(I)]ボタンをクリックします。



5. インストールを開始します。
6. インストールが完了すると、次のダイアログが表示されますので、[完了]ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

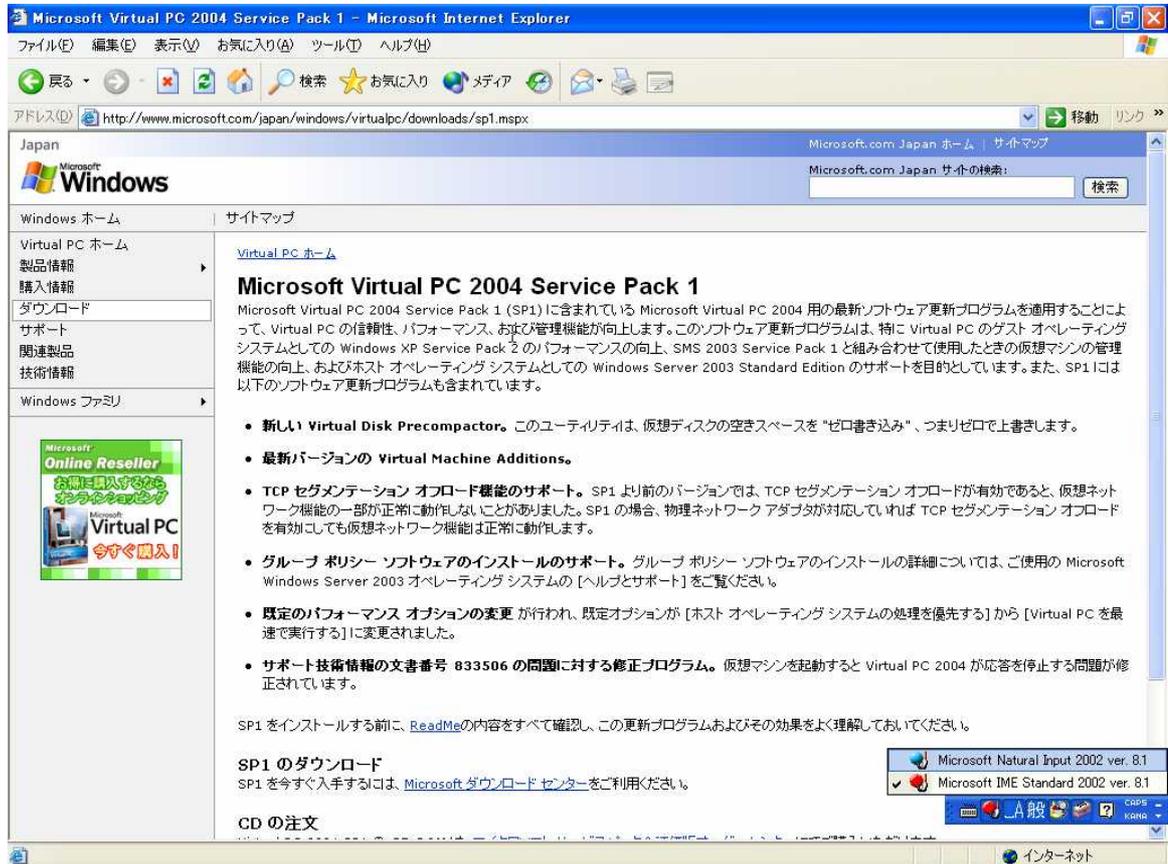


7. 次に Virtual PC 2004 の ServicePack1(以下 SP1)の適応を行います。

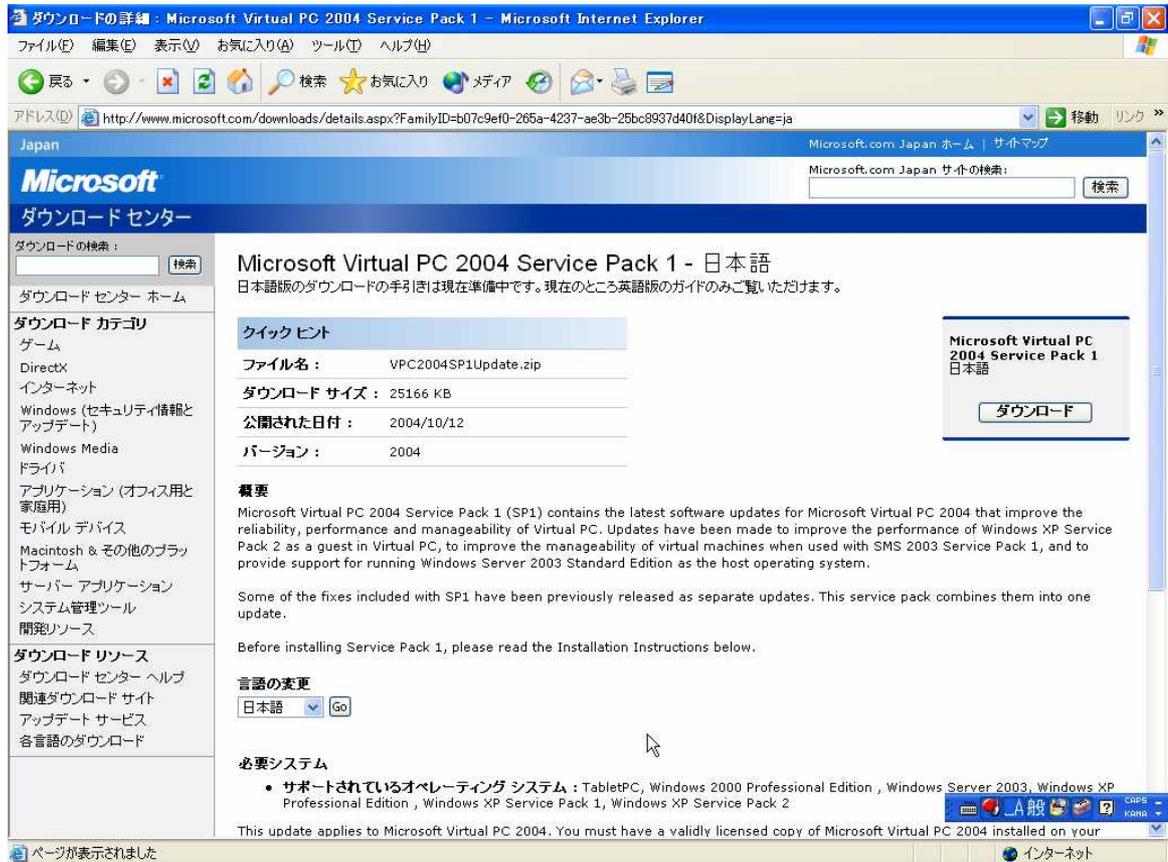
まず Internet Explorer を起動して、以下の URL のページを開きます。

URL) <http://www.microsoft.com/japan/windows/Virtual PC/downloads/sp1.mspx>

“ SP1 のダウンロード ” のアンカー部 “ Microsoft ダウンロードセンター ” の部分をクリックします。



8. 以下のページが表示されます。画面右の“ダウンロード”ボタンをクリックします。



9. 次のダイアログが表示されますので、保存を選択し、ローカルディスクの適当な場所にファイルを保存します。



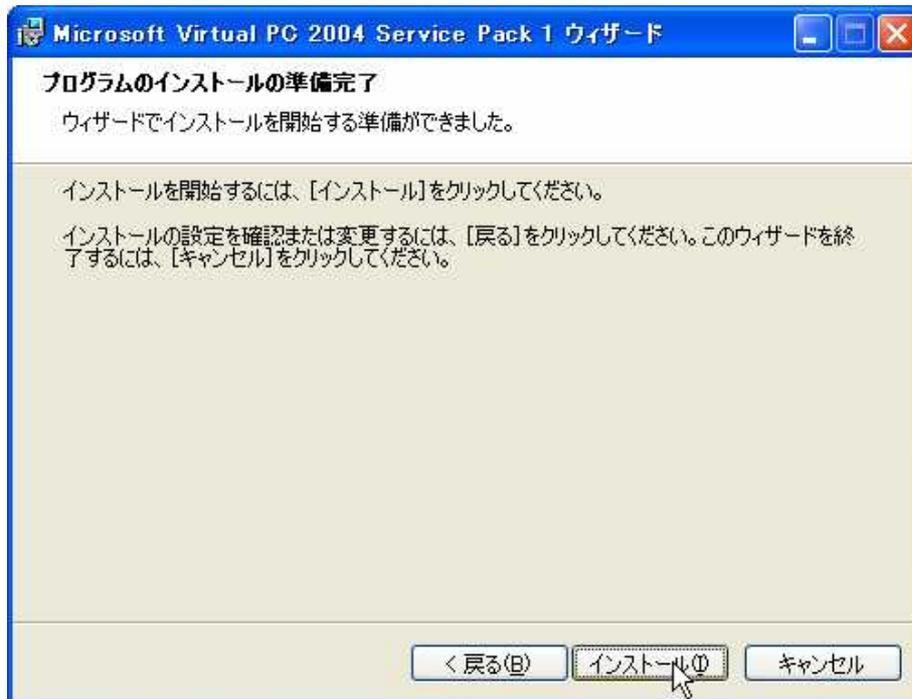
10. 起動中のアプリケーションを全て終了後、9.で保存したファイルを展開します。  
“ VPC 2004SP1Update.zip ” を選択し、右クリックメニューで “ 全て展開 ” を選んでください。その後は、Wizard が起動しますので、指示に従って下さい。
11. 展開したファイルの中の “ Setup.exe ” を実行してください。  
インストールウィザードが起動しますので、“ 次へ ” をクリックします。



12. 使用許諾契約書が表示されますので、同意して、“ 次へ ” をクリックします。



13. [インストール]をクリックすると SP1 のインストールが始まります。



14. インストールが完了すると以下のダイアログが表示されますので、[完了]をクリックします。



以上で、Virtual PC のインストールは終了です。

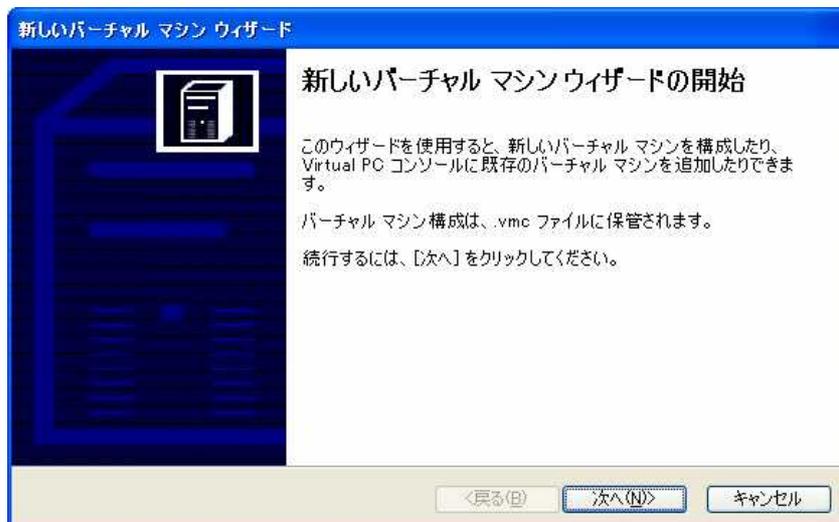
## 5 DOS のインストール

### 5-1 DOS 用バーチャルマシンの作成

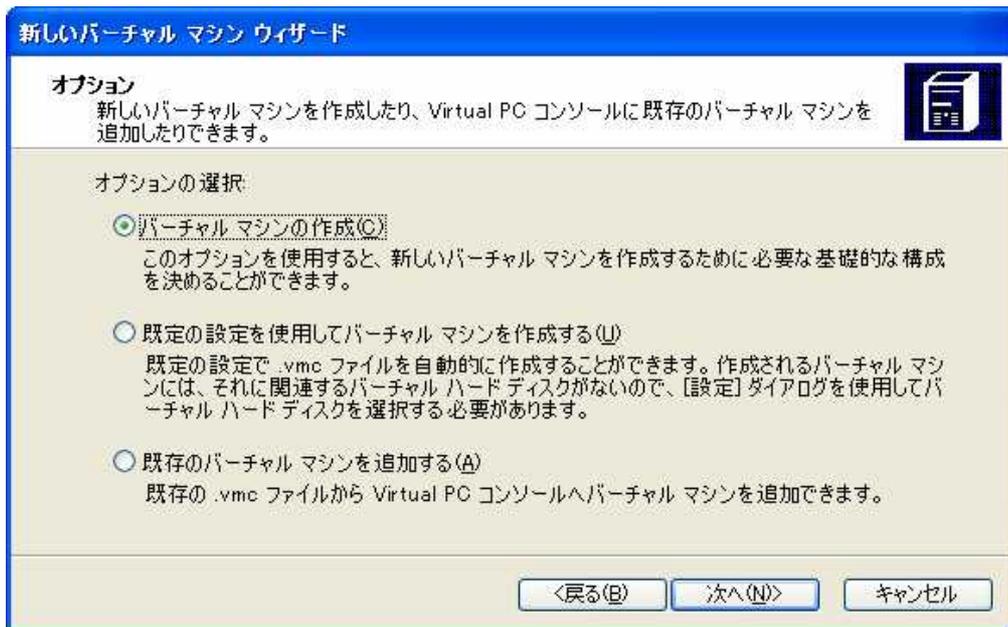
1. まず DOS をインストールするバーチャルマシンを作成します。タスクバー上の[スタート]ボタンをクリック後、[プログラム]||[Microsoft Virtual PC ]を選択します。



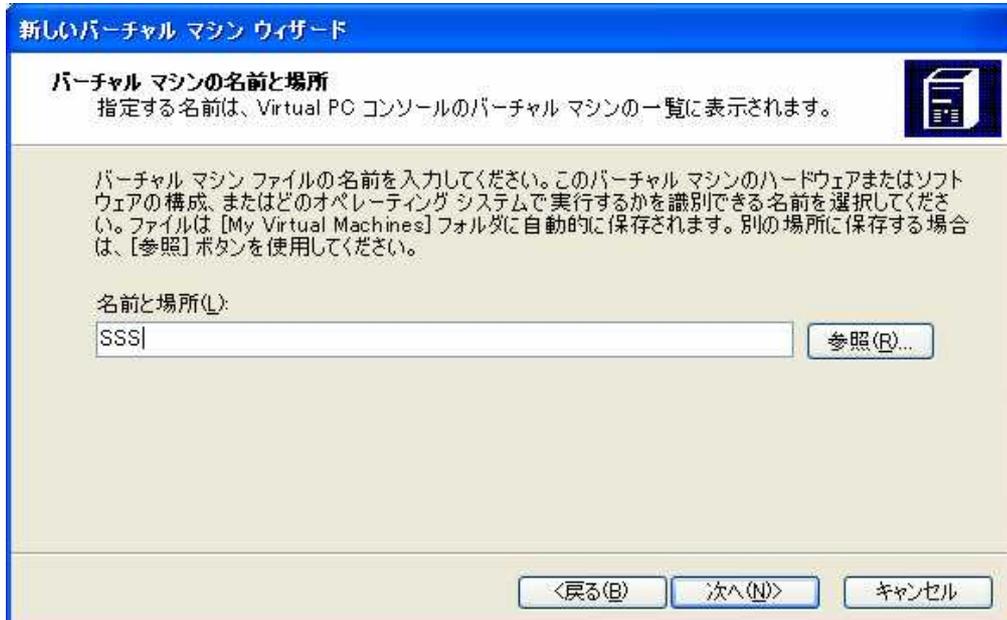
2. Virtual PC が起動し、次の PC セットアップウィザードが起動します。ウィザードが表示されたら “ 次へ ” をクリックします。



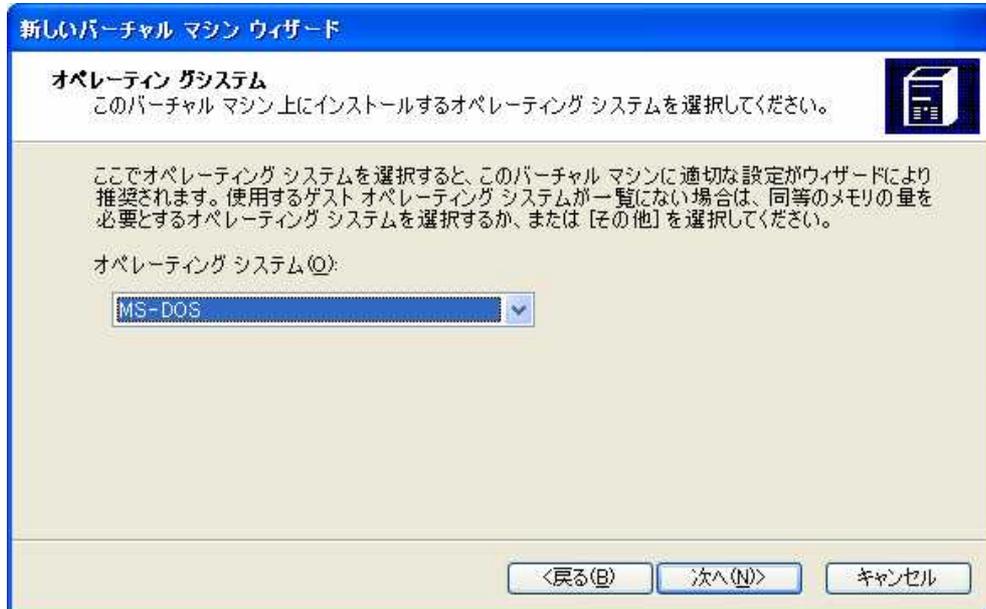
3. “バーチャルマシンの作成(C)” を選択し、“次へ” をクリックします。



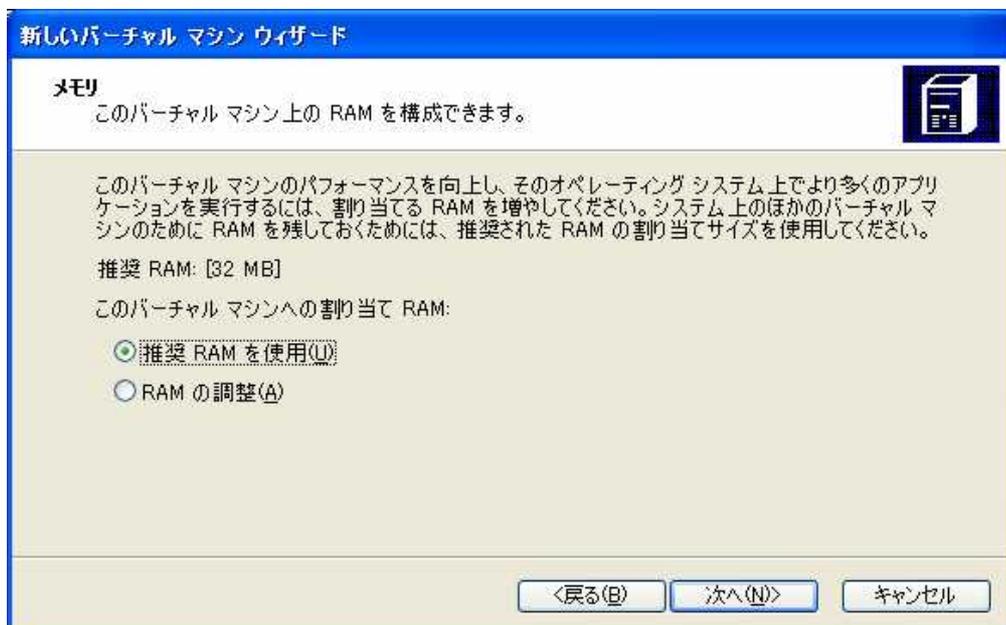
4. バーチャルマシンの名前と場所を設定します。既定の状態の名前 “ My Virtual Machine ” を “ SSS ” に変更します。また標準ではバーチャルマシンは “ マイドキュメント¥My Virtual Machines ” というフォルダ内に作成されます。



5. 次のオペレーティングシステム選択のダイアログが表示されます。  
オペレーティングシステム(O):で “ MS DOS ” を指定して、“ 次へ ” をクリックします。

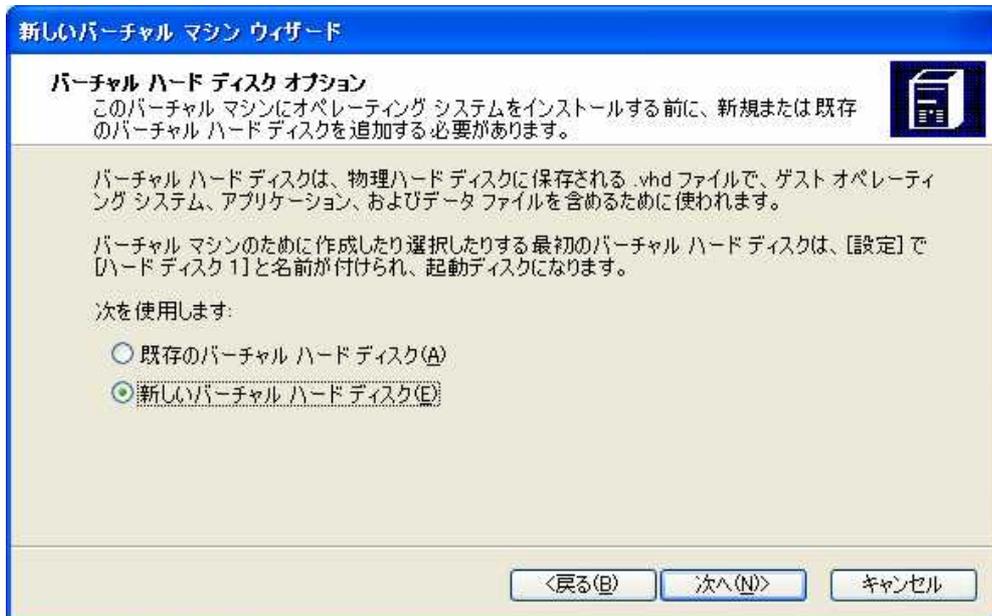


6. DOS で使用するメモリを指定します。  
“ 推奨する RAM を使用(U) ” を選択し、“ 次へ ” をクリックします。



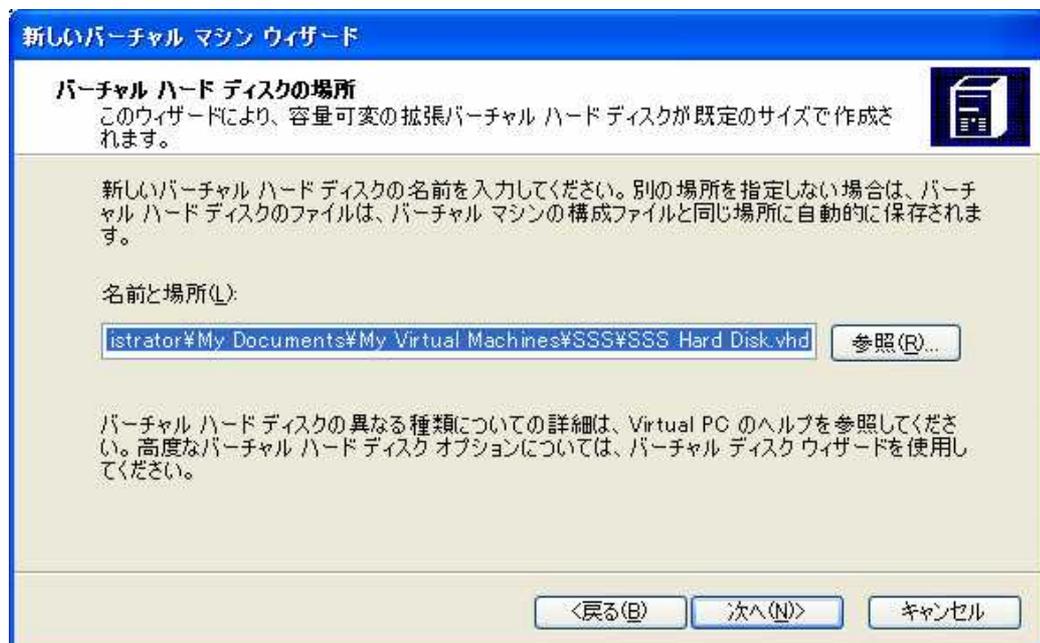
7. バーチャルハードディスクの指定をします。

“新しいバーチャルハードディスク(E)”を指定して“次へ”をクリックします。



8. バーチャルハードディスクの場所を指定します。

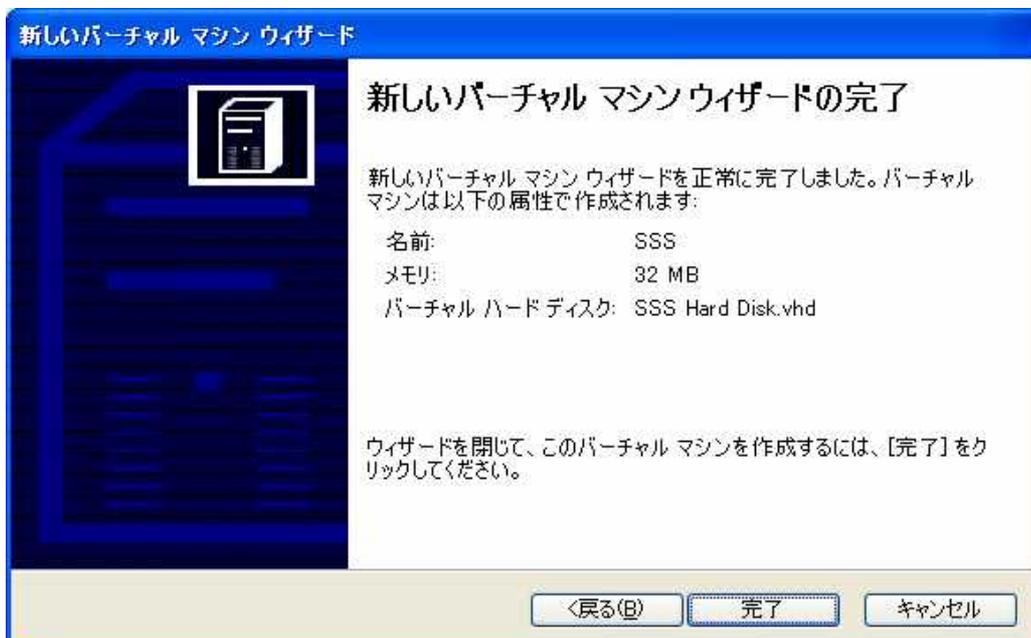
“名前と場所(L)”を既定の設定のまま、“次へ”をクリックします。



9. 以上で仮想マシンの作成が完了しました。

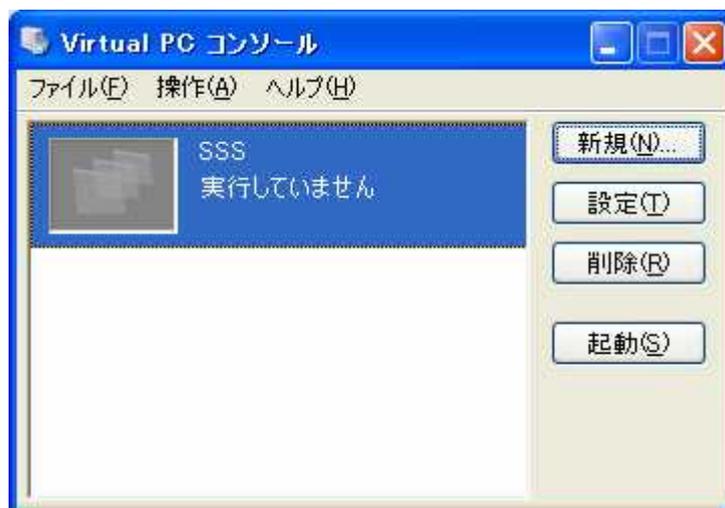
[完了]をクリックして下さい。

注意：作成した仮想ハードディスクは絶対に削除しないで下さい。



10. 次のように、Virtual PC コンソールに作成した PC が追加されます。

これで DOS をインストールする準備が整いました。右上の×印をクリックして Virtual PC コンソールを閉じてください。



## 5-2 DOS のインストール

### 5-2-1 PC DOS のインストール

1.以下、PC DOS のインストール手順を説明します。

(ここでは、PC DOS 2000 日本語版 FD 版で説明いたします。CD 版については、本手順書末の#Appendix に説明します。)

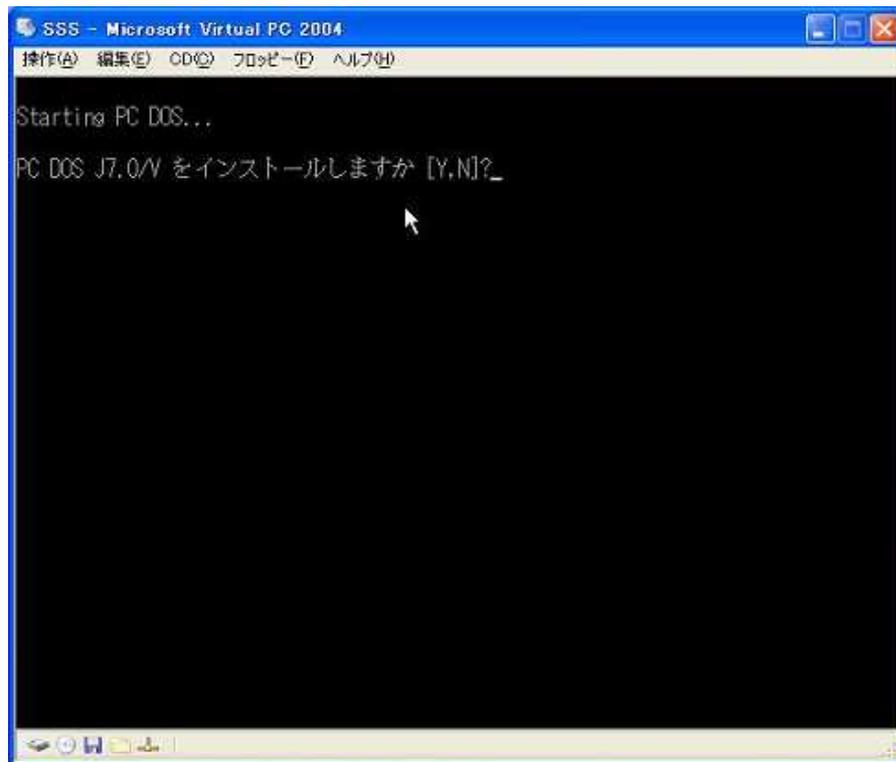
まずタスクバー上の[スタート]ボタンをクリック後、[プログラム] | [Microsoft Virtual PC ]を選択します。



2.Virtual PC が起動し、次のメニューダイアログが起動します。パソコンのフロッピードライブに[PC DOS J2000]の DISK 1 を挿入し、[起動(S)]ボタンをクリックします。



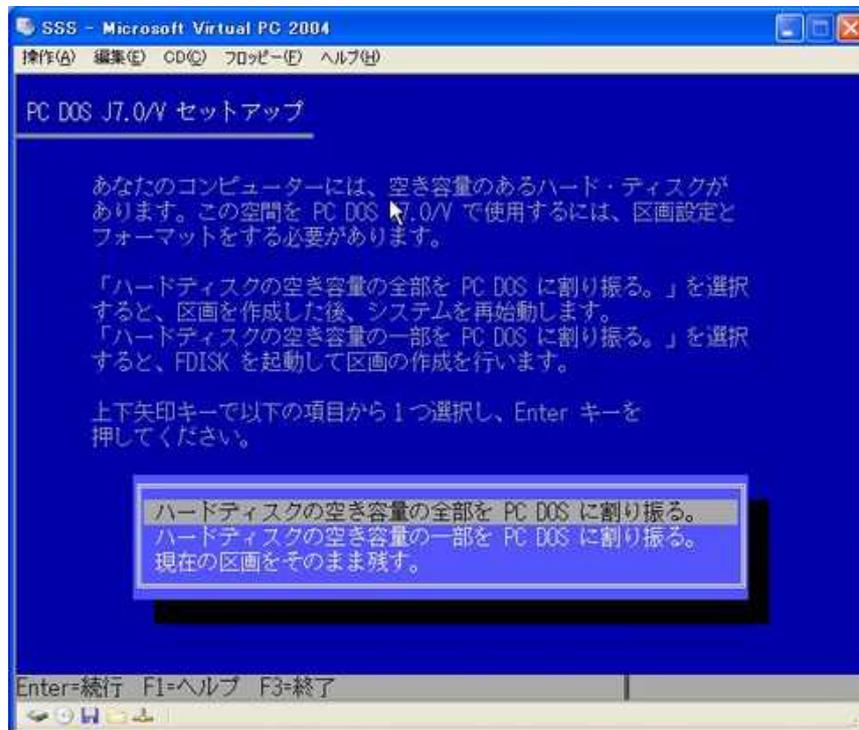
3. 次の仮想マシンの BIOS 画面が表示され、次に PCDOS の起動画面が表示されます。[Y]キーを入力します。



4. 次の画面が表示されます。[Enter]キーを押します。



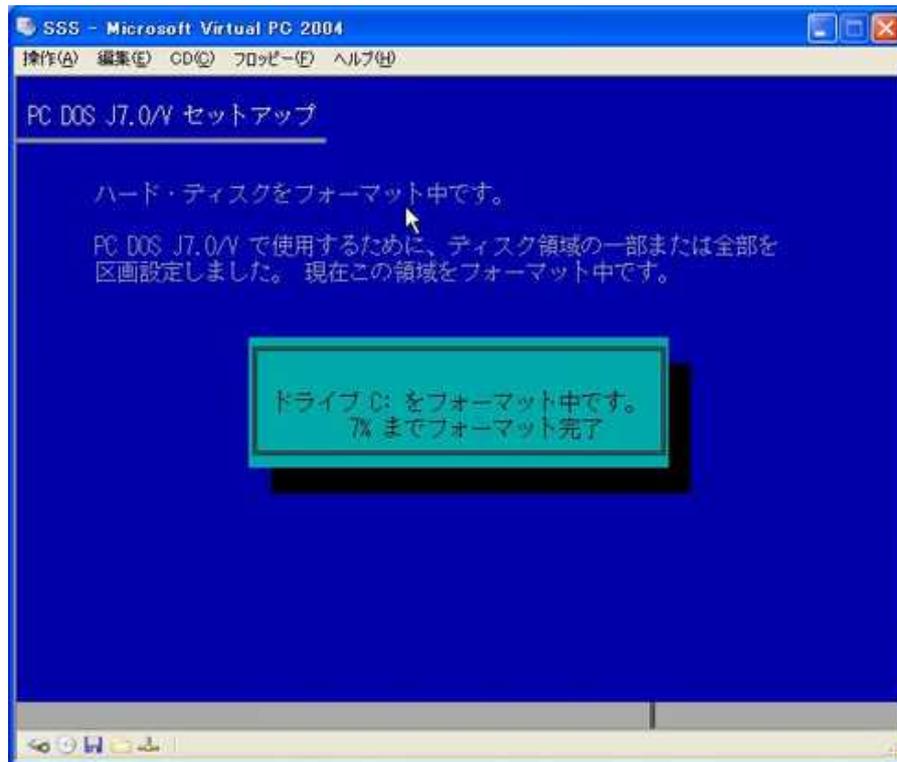
- 5.次の画面が表示されます。ハードディスクの初期化を行います。カーソルキーで[ハードディスクの空き容量の全部を PC DOS に割り振る]を選択し、[Enter]キーを押します。



- 6.PC DOS が再起動します。3.と同じ画面で[Y]キーを押します。
- 7.4.と同じ画面が表示されます。[Enter]キーを押します。
- 8.次の画面が表示されます。カーソルキーで[区画をフォーマットする]を選択し [Enter]キーを押します。



9. 次の画面が表示され、フォーマットが始まります。



10. フォーマットが終了すると次の画面が表示されます。[Enter]を押します。



11. 次の画面が表示されます。設定に問題がなければ[上記オプションでよい]を選択して[Enter]を押します。



12. 次の画面が表示されます。[PageUp]ボタンで画面をスクロールさせ、“DOS シェル(日本語)”を選択して[Enter]を押します。“はい”が“いいえ”に変更されます。





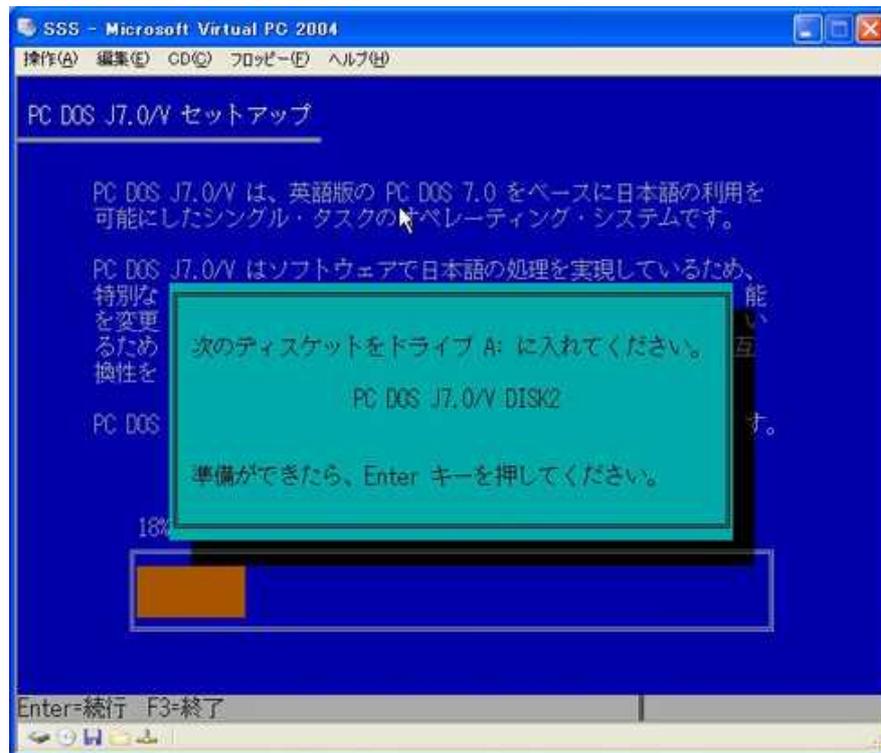
15. 次の画面が表示されます。[Enter]を押します。



16. 次の画面が表示されます。PC DOS のインストールが開始されます。



17. インストールが進むと以下の画面が表示されます。画面のメッセージに従って DISK を入れ替えて[Enter]キーを押して下さい。

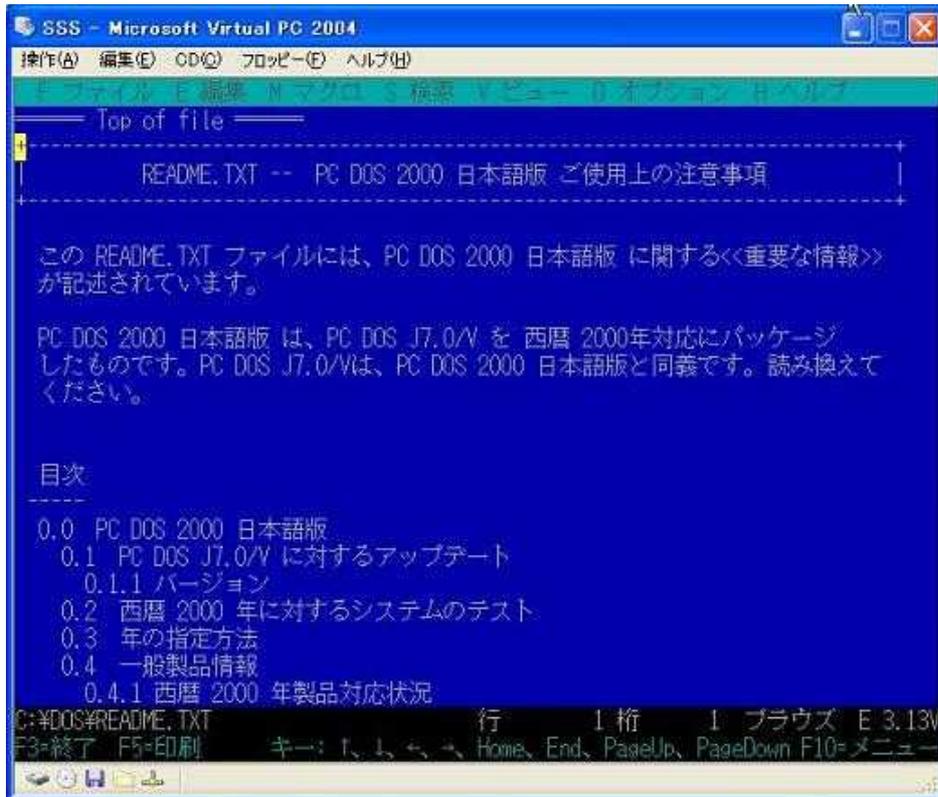


新たに挿入した DISK を認識できない場合、メニューバーの[フロッピー | “A” を解放する]を選択後、再度[Enter]キーを押して下さい。

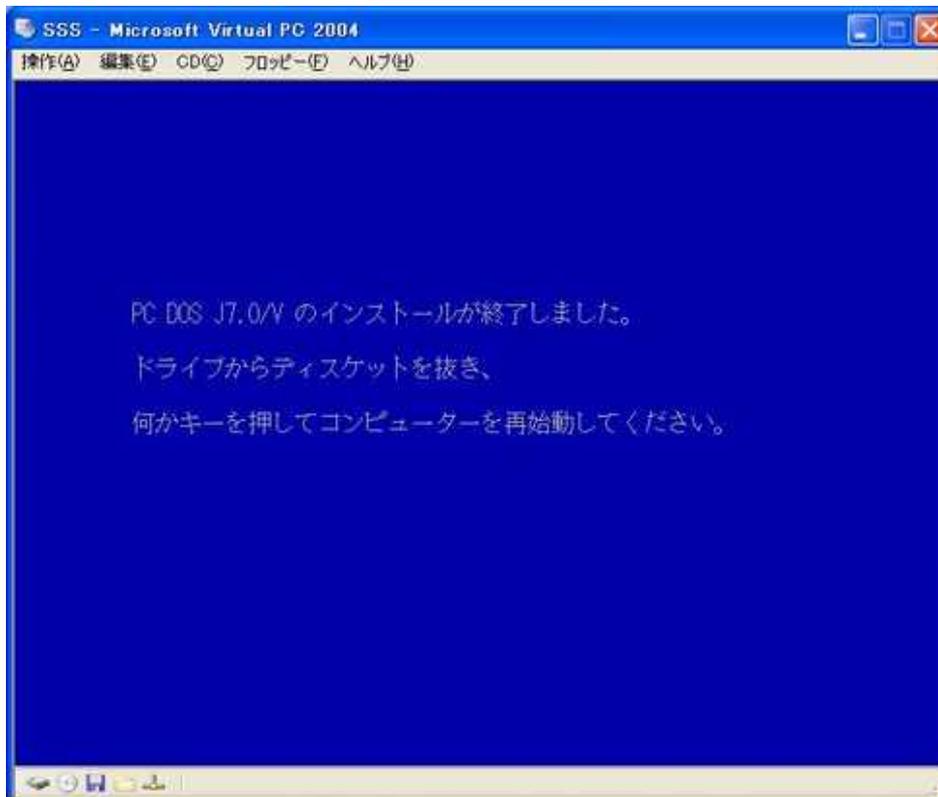
18. インストールが終了すると次の画面が表示されます。[上記のオプションでよい]を選択し、[Enter]を押します。



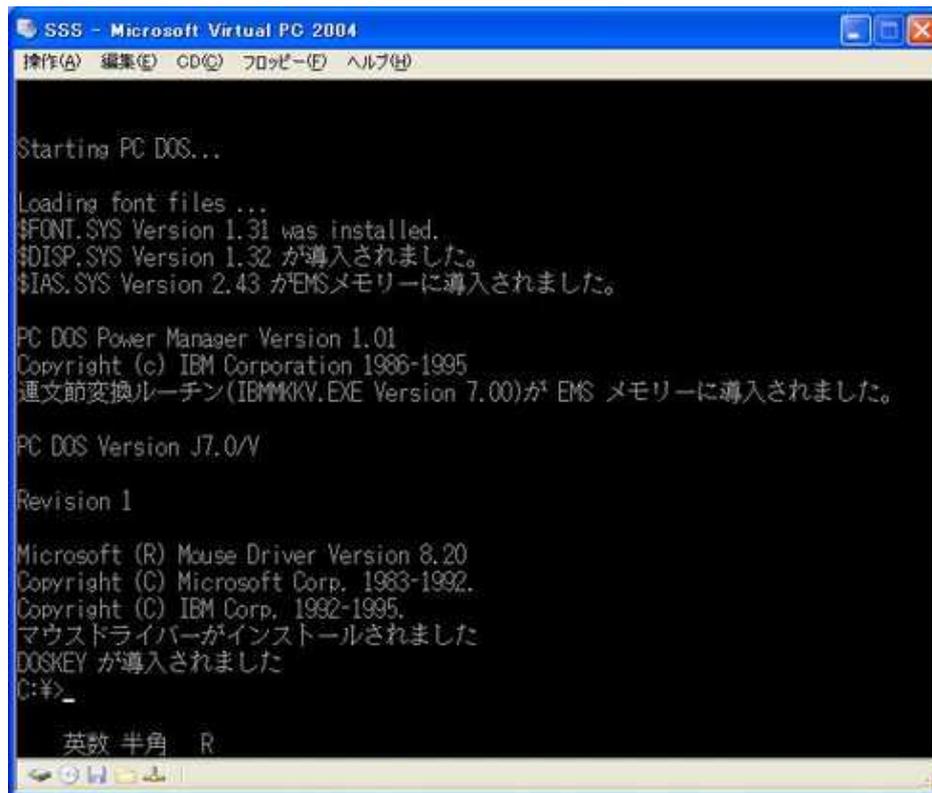
19. 次の画面が表示されます。[F3]キーを押します。



20. 以下の画面になります。フロッピーディスクを抜いて、何かキーを押します。



21. PC DOS が再起動します。これで PC DOS のインストールは終了です。



```
Starting PC DOS...
Loading font files ...
$FONT.SYS Version 1.31 was installed.
$DISP.SYS Version 1.32 が導入されました。
$IAS.SYS Version 2.43 がEMSメモリーに導入されました。

PC DOS Power Manager Version 1.01
Copyright (c) IBM Corporation 1986-1995
連文節変換ルーチン (IBMMKV.EXE Version 7.00)が EMS メモリーに導入されました。

PC DOS Version J7.0/V

Revision 1

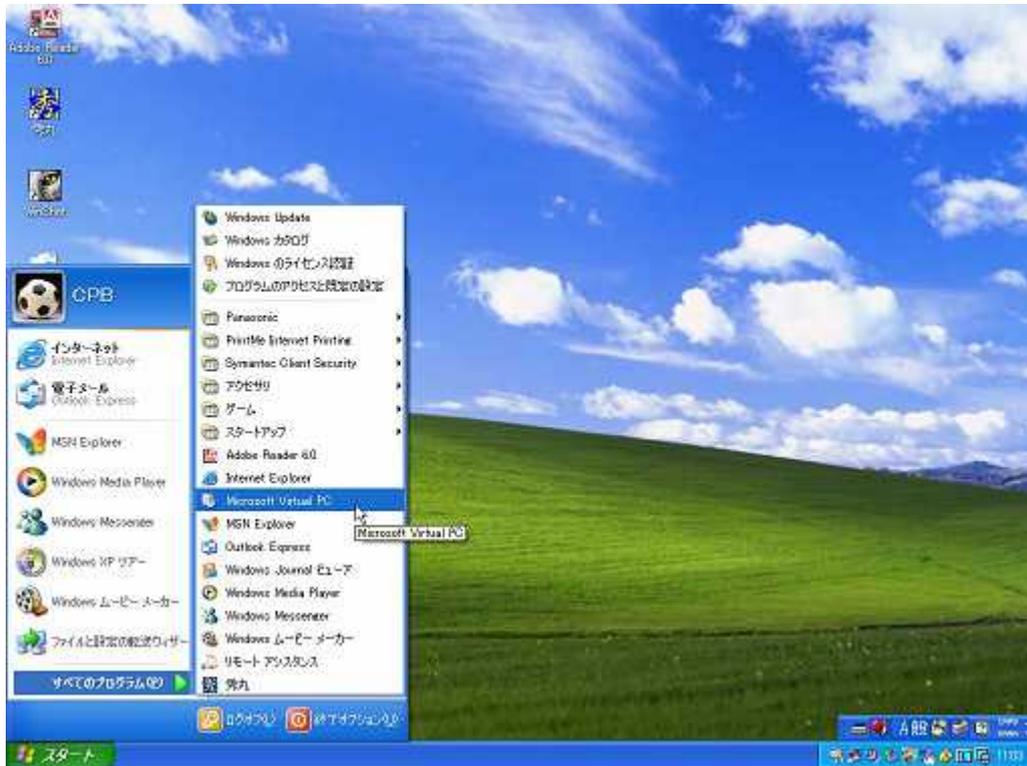
Microsoft (R) Mouse Driver Version 8.20
Copyright (C) Microsoft Corp. 1983-1992.
Copyright (C) IBM Corp. 1992-1995.
マウスイバァがインストールされました
DOSKEY が導入されました
C:¥>_

英数 半角 R
```

## 5-2-2 MS DOS のインストール

1. 同様に MS DOS のインストール手順を説明します。

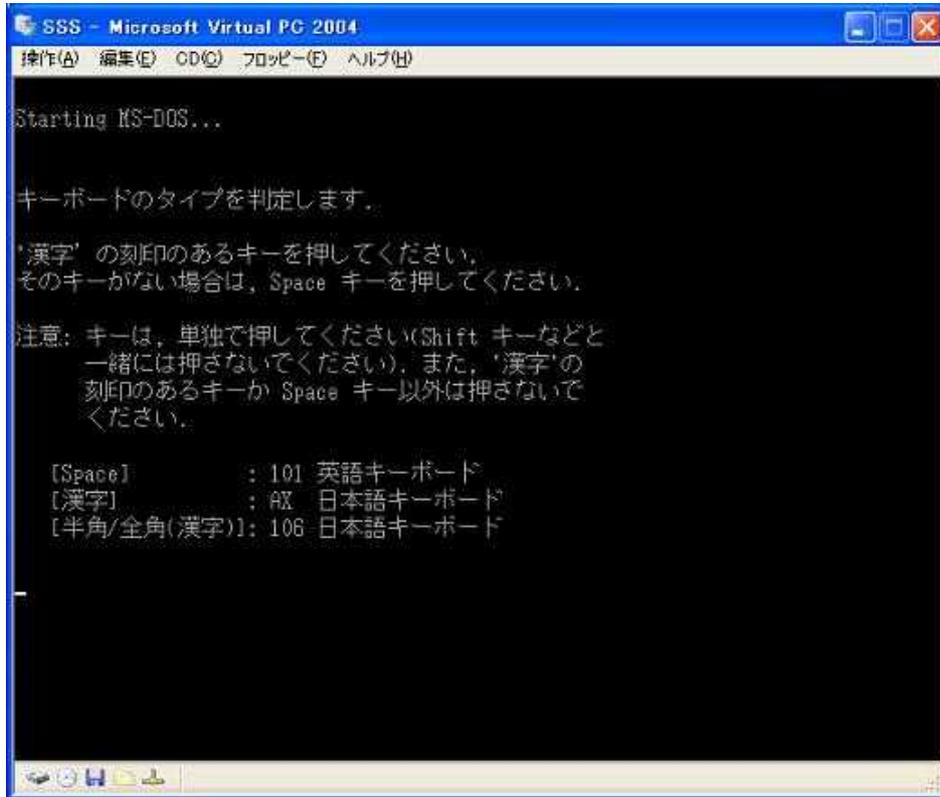
タスクバー上の[スタート]ボタンをクリック後、[プログラム] | [Microsoft Virtual PC] を選択します。



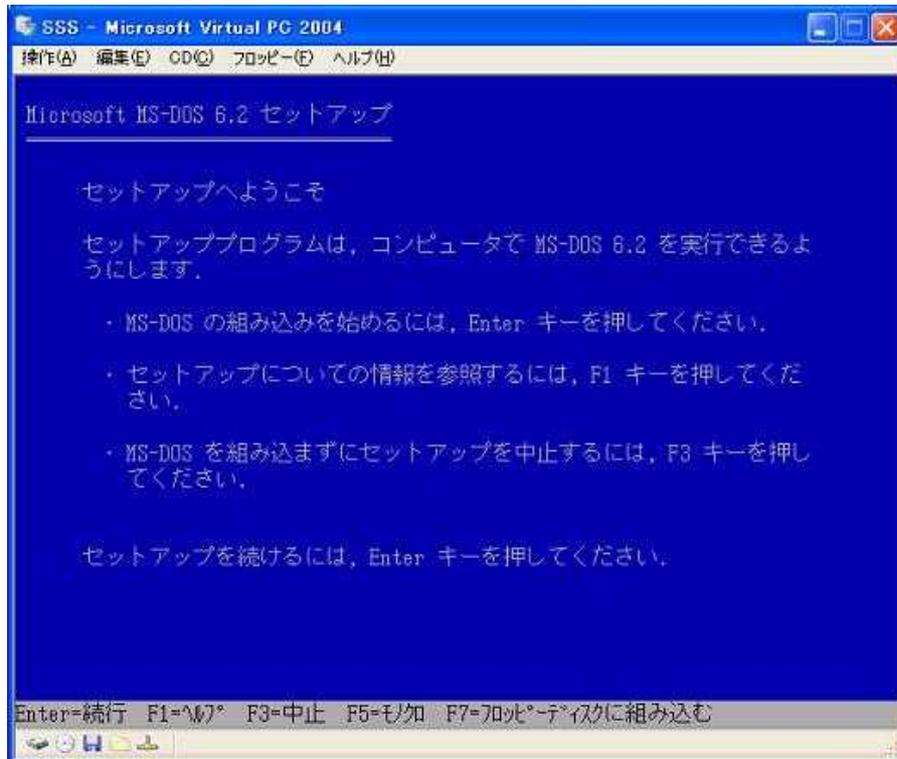
2. Virtual PC が起動し、次のメニューダイアログが起動します。パソコンのフロッピードライブに[MS DOS 6.20/V]の DISK 1 を挿入し、[起動(S)]ボタンをクリックします。



3. 次のバーチャルマシンの BIOS 画面が表示され、次に MS-DOS の起動画面が表示されます。ホストマシンのキーボードに合うキーを押します。



4. 次の画面が表示されます。画面に従って[Enter]キーを押します。



5. 次のセットアップ画面が表示されます。ハードディスクの初期化を行います。カーソルキーで[割り当てられていないディスク領域の設定をする]を選択し、[Enter]キーを押します。



6. 次の画面が表示されます。[Enter]キーを押します。



- MS-DOS が再起動します。3.と同じ画面が表示されますので、先程と同じキーを押します。
- ハードディスクのフォーマットが始まります。



- フォーマットが終了すると、DOS のインストール設定画面が表示されます。設定に問題が無ければ、[ENTER]を押します。



10.先程と同様、設定に問題が無ければ、[ENTER]を押します。



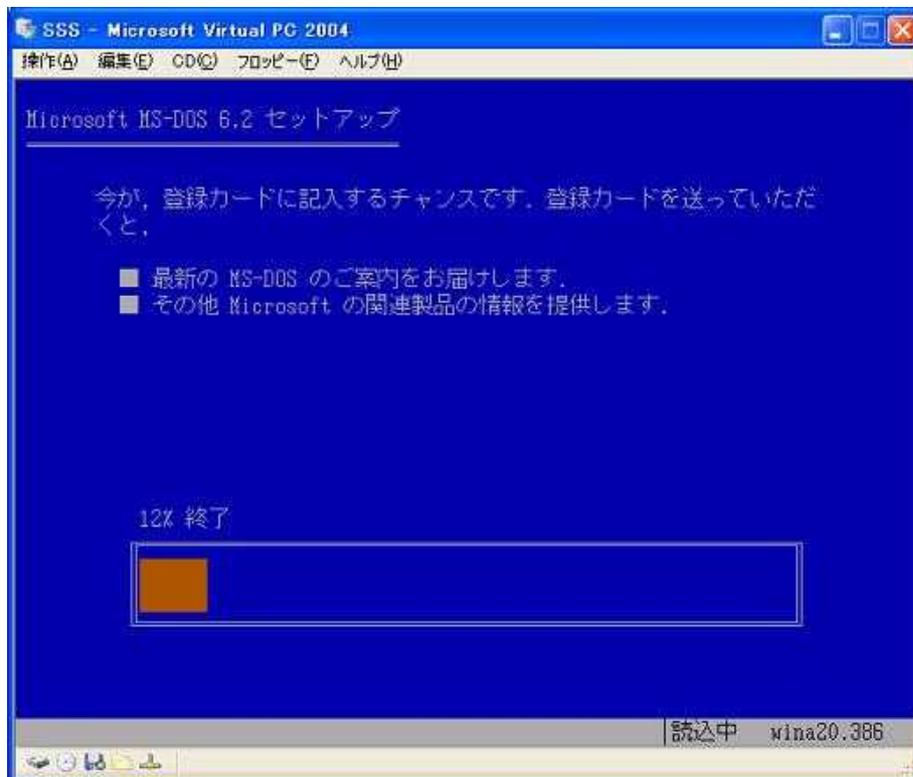
11.先程と同様、設定に問題が無ければ、[ENTER]を押します。



12. 以下の画面が表示されますので[ENTER]を押します。



13. MS DOS のインストールが開始されます。



14. インストールが進むと以下の画面が表示されます。画面のメッセージに従って DISK を入れ替えて[Enter]キーを押します。



新たに挿入した DISK を認識できない場合、メニューバーの[フロッピー | “A” を解放する]を選択後、再度[Enter]キーを押して下さい。

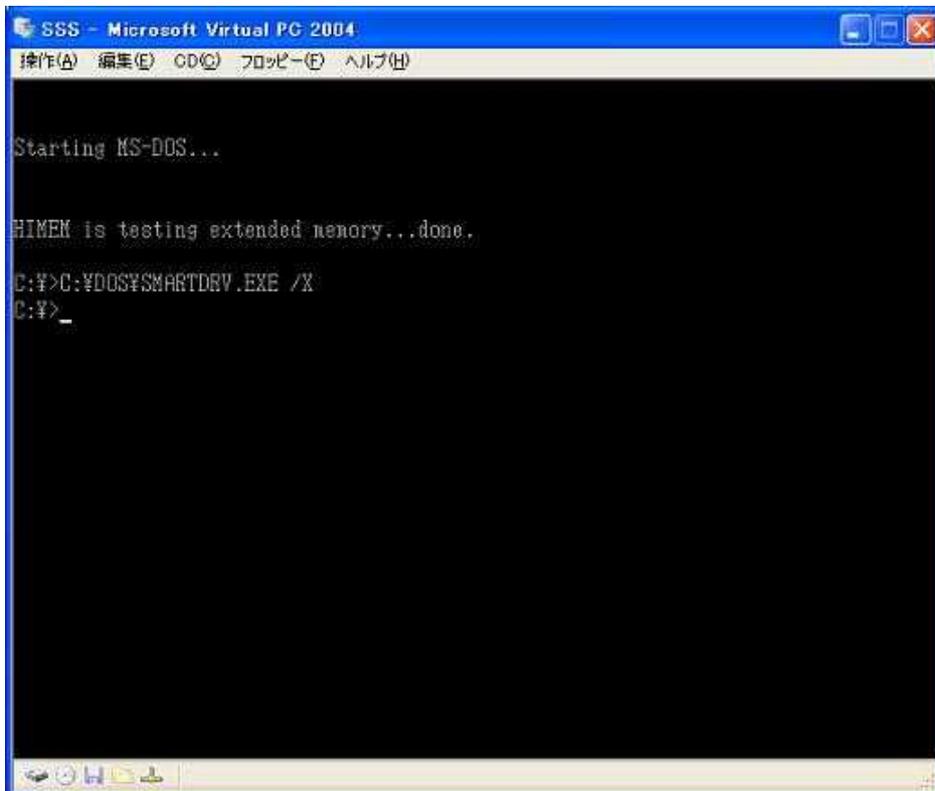
15. インストールが終了すると次の画面が表示されます。フロッピーディスクをドライブから抜いて、[ENTER]を押します。



16.以下の画面になります。再び[ENTER]を押して、MS DOS を再起動してください。



17.MSDOS が再起動されます。



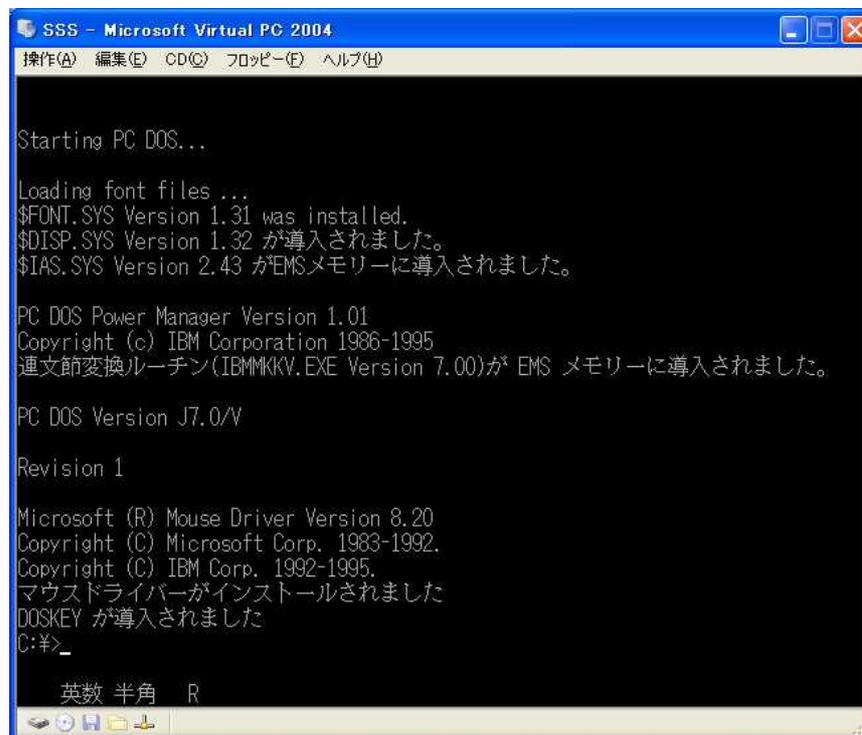
## 5-3 DOS の起動・終了

### 5-3-1 DOS の起動

1. タスクバー上の[スタート] ボタンをクリック後、[プログラム][Microsoft Virtual PC]を選択して、Virtual PC を起動します。その後マウスで Virtual PC コンソールの前項で作成した”SSS”を選択し、[起動]ボタンをクリックします。



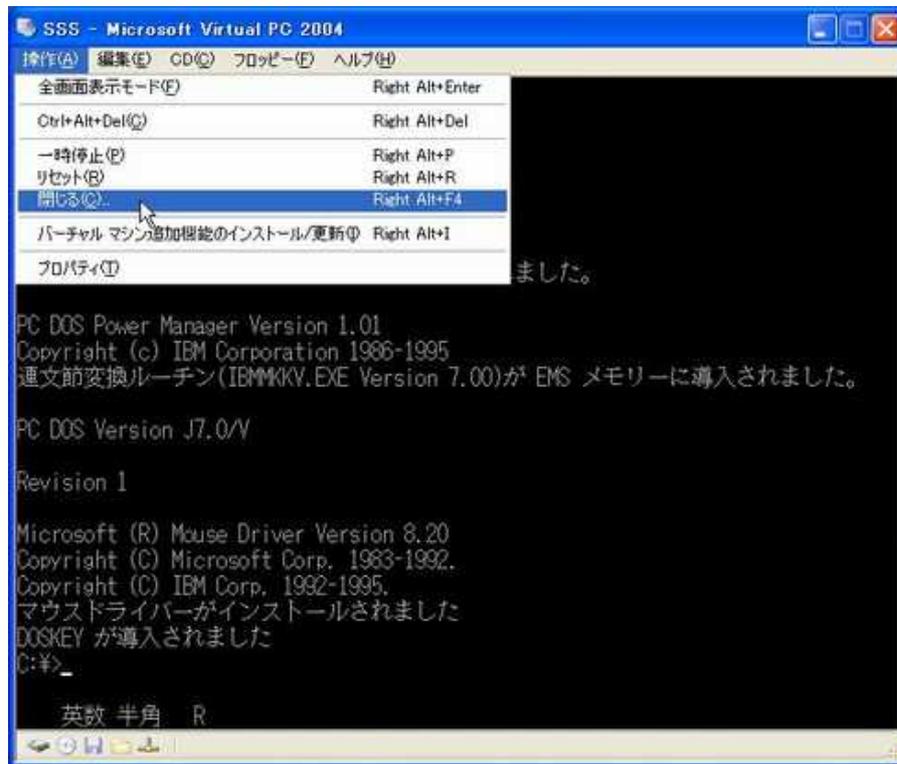
2. DOS が起動し、次のウィンドウが開きます。



\* ご注意 : DOS を起動する際は、ホストパソコンのフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないことを確認して下さい。

### 5-3-2 DOS の終了

1. DOS のメニューから [操作(A) | 閉じる] を選択します。



2. [閉じる] ダイアログが表示され、終了オプションを選択することができます。



- ・ 電源を切る：パソコンの電源を切ると同じ状態になります。
- ・ 状態を保存する：現在の状態が保存され、次回 DOS を起動すると保存した画面の状態を復元します。

ここでは、「PC の電源を切る」を選択して下さい。

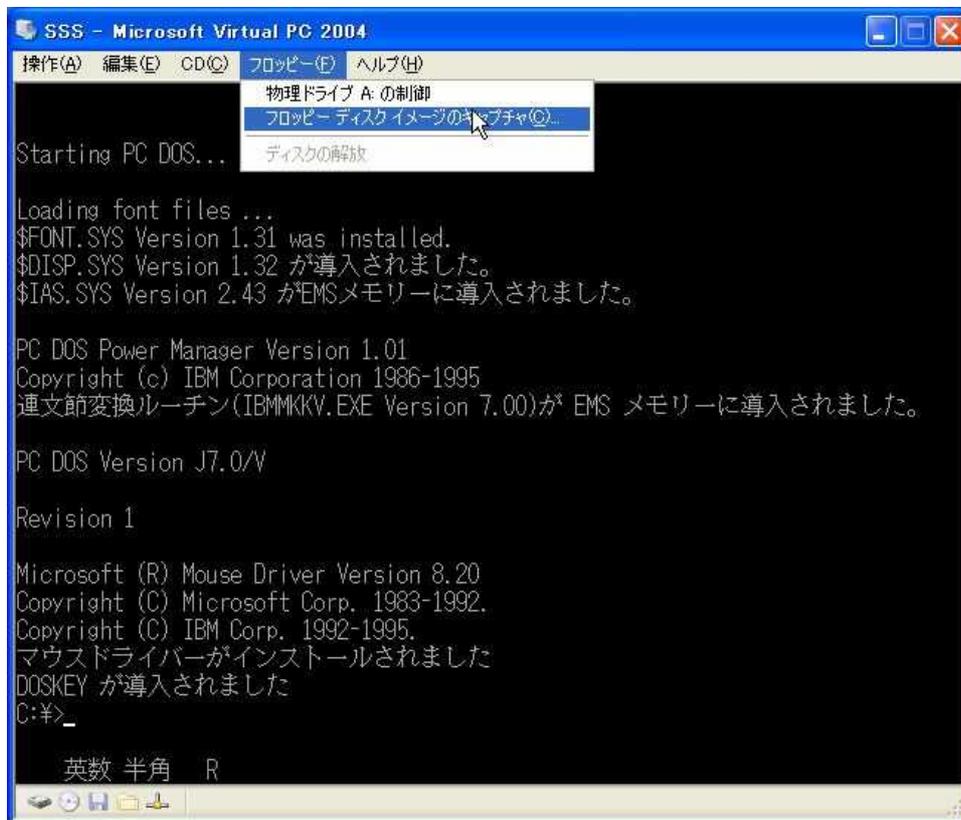
### 5-3-3 DOS 操作上の注意

- ・ DOS の画面上でマウスをクリックするとマウスポインタが消えますが、右側の Alt キーを押すとポインタが再び表示されます。
- ・ ホストパソコンで、フロッピー/CD-ROM ドライブにアクセスしている時は、DOS からフロッピー/CD-ROM ドライブにアクセスできません。

## 5-4 Virtual PC 追加機能のインストール

Virtual PC では仮想 CD ドライブのデバイスドライバ、ホストパソコンへのフォルダ共有を行うドライバを仮想 FD で提供しています。よって DOS からホストパソコン側の CD や HDD (ハードディスク) のフォルダにアクセスしたり、CV サポートソフトのインストールを行うためには仮想 FD を読めるようにする必要があります。ここでは仮想 FD を読める設定を行います。

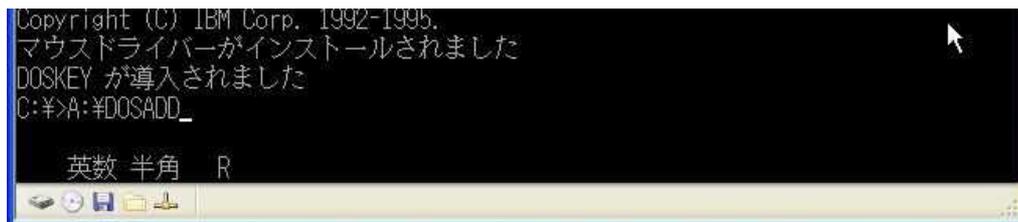
1. Virtual PC コンソールから”SSS”を選択し、[起動]ボタンをクリックします。
2. DOS のメニューから[フロッピー(F) | フロッピーディスクイメージのキャプチャ(C)...]を選択します。(これにより、実際のパソコンのフロッピーディスクドライブではなく、フロッピーディスクと同じフォーマットで作成されたファイルの中にアクセスできるようになります)



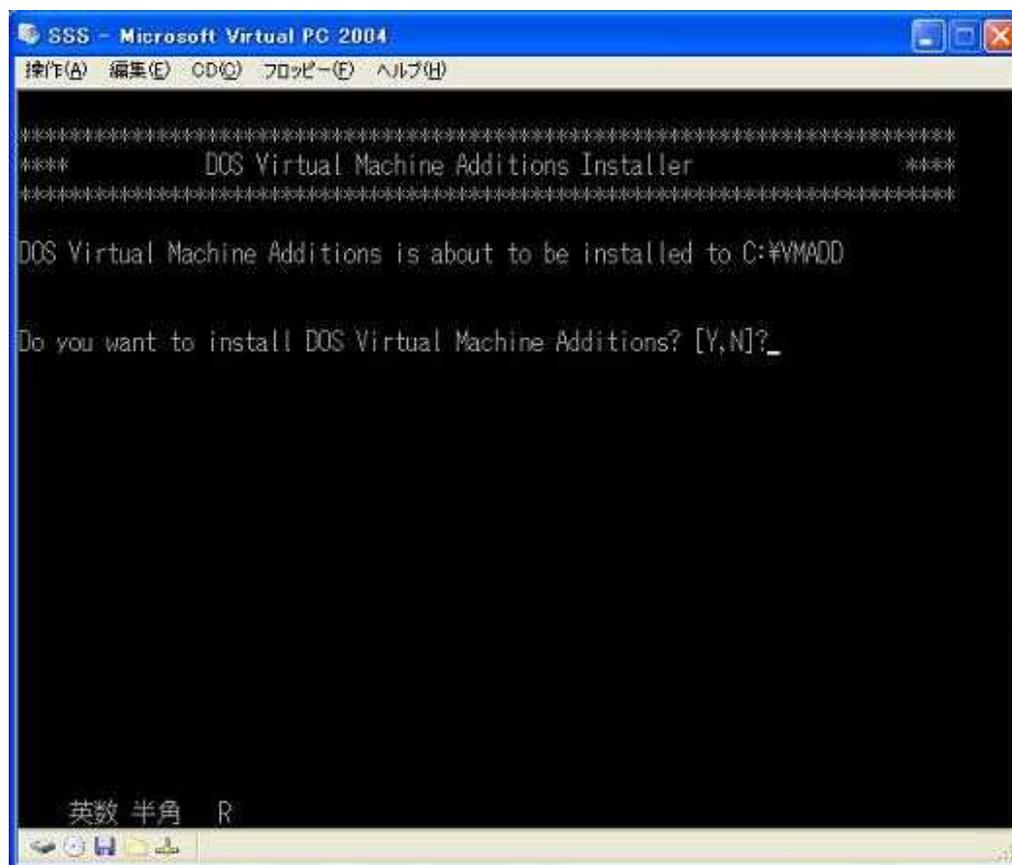
3. フォルダ”C:¥Program Files¥Microsoft Virtual PC¥Virtual Machine Additions¥”を開き、“ Dos Virtual Machine Additions.vfd”ファイルを開きます。



4. DOS のコマンドラインから、“A:¥DOSADD[Enter]”と入力します。



5. 追加機能がインストールされます。なおインストール中に Y/N の選択確認が出ますので、[Y]キーを入力します。



6. インストール終了後、DOS のメニューから[フロッピー | “Dos Additions”を解放する]を選択します。



7. AUTOEXEC.BAT を編集します。(PC DOS では E.EXE MS DOS では、EDIT.EXE を使用します)編集画面で “ c:¥vmadd¥mouse.com ” の行頭に “ REM ” を挿入します。

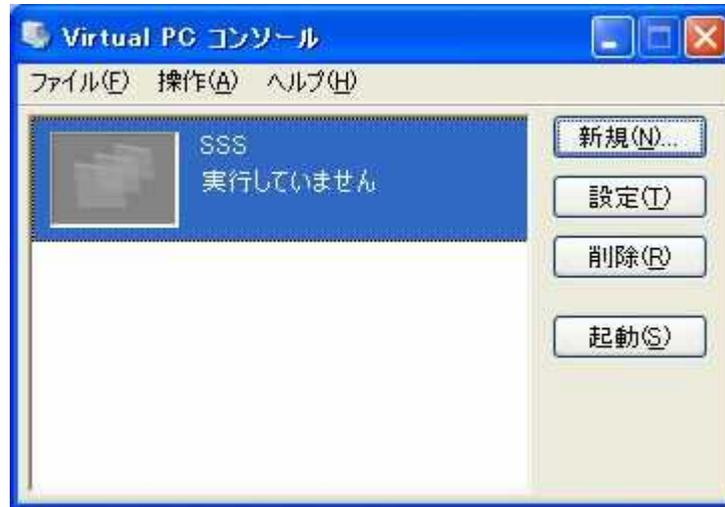
```
SSS - Microsoft Virtual PC 2004
操作(A) 編集(E) CD(C) フロッピー(F) ヘルプ(H)
F ファイル E 編集 M マクロ S 検索 V ビュー O オプション H ヘルプ
===== Top of file =====
@ECHO OFF
SET COMSPEC=C:¥DOS¥COMMAND.COM
PROMPT $P$G
PATH C:¥DOS;
SET TEMP=C:¥DOS
LH C:¥DOS¥KEYB.COM JP, 932, C:¥DOS¥KEYBOARD.SYS
VER
LH C:¥DOS¥MOUSE.COM
LH C:¥DOS¥DOSKEY.COM
@REM ****
@REM ****  DOS Virtual Machine Additions  ****
@REM ****
SET DOSVMADD13=INSTALLED
c:¥vmadd¥fshare.exe
c:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:IDECD001 /L:E /M:8
c:¥vmadd¥idle.com
rem c:¥vmadd¥mouse.com
===== Bottom of file =====
C:¥AUTOEXEC.BAT 行 17 桁 5 挿入 E 3.13W
F1=大文字化 2=小文字化 3=マ-ク大文字 4=マ-ク小文字 5=先頭文字 6=語尾文字
英数 半角 R
```

8. 編集内容を保存して、編集を終了します。
9. ゲスト OS のメニューから[操作 | 閉じる | 電源を切る]を選択して“SSS”を終了します。次回起動時から、追加機能が有効になります。

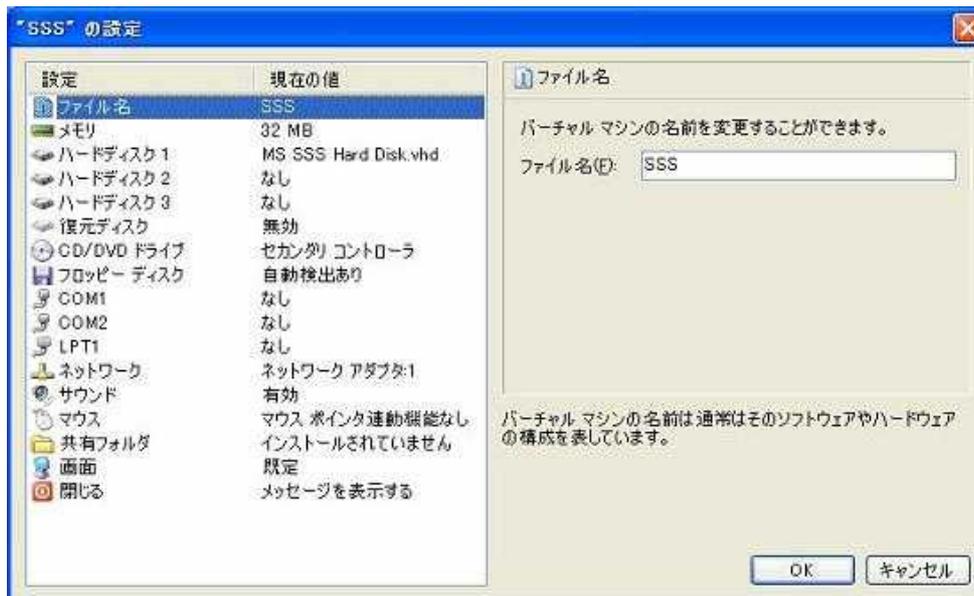
## 5-5 DOS の設定

### 5-5-1 PLC と通信するための設定

1. Virtual PC コンソールから”CVS”を選択し、[設定]ボタンをクリックします。

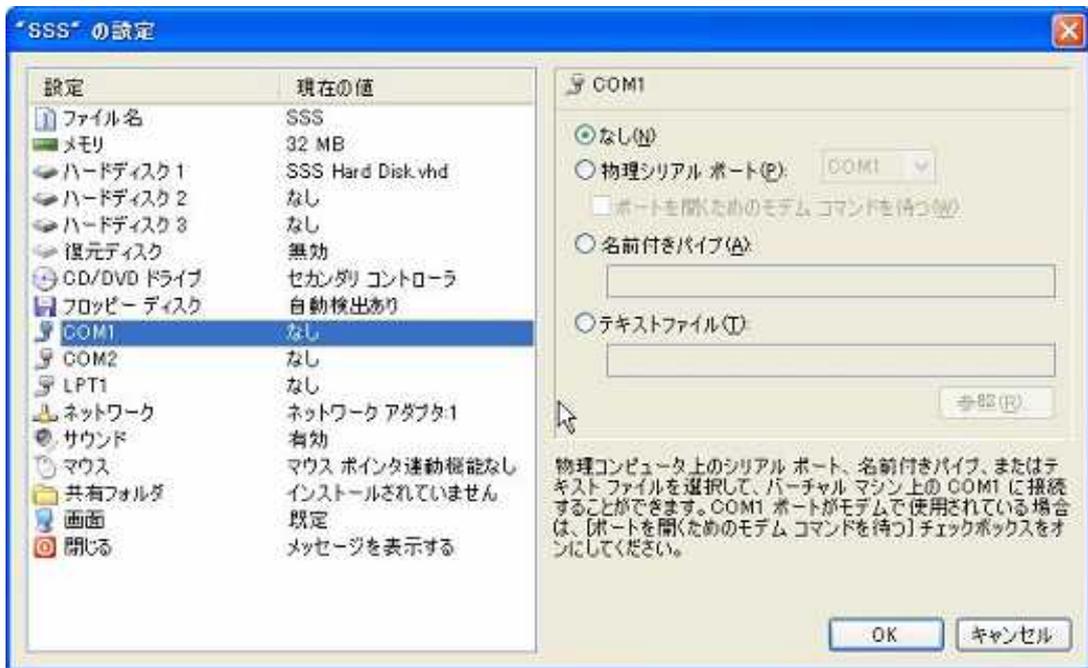


次の設定ダイアログが表示されます。



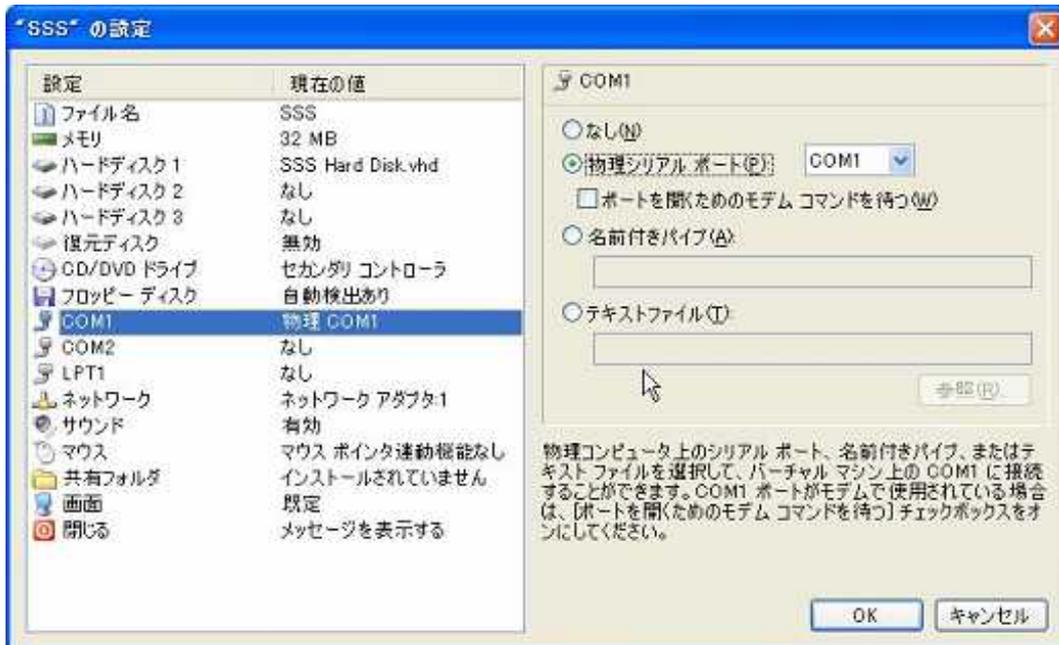
2. 設定ダイアログのリストから[COM1]を選択します。

次の[COM1]の設定画面が表示されます。



3. [COM1]の設定画面で、“物理シリアルポート”を選択し、パソコンと PLC をつなぐ時に使用するポートを設定します。また、“ポートを開くためのモデムコマンドを待つ”のチェックボックスのチェックをはずします。

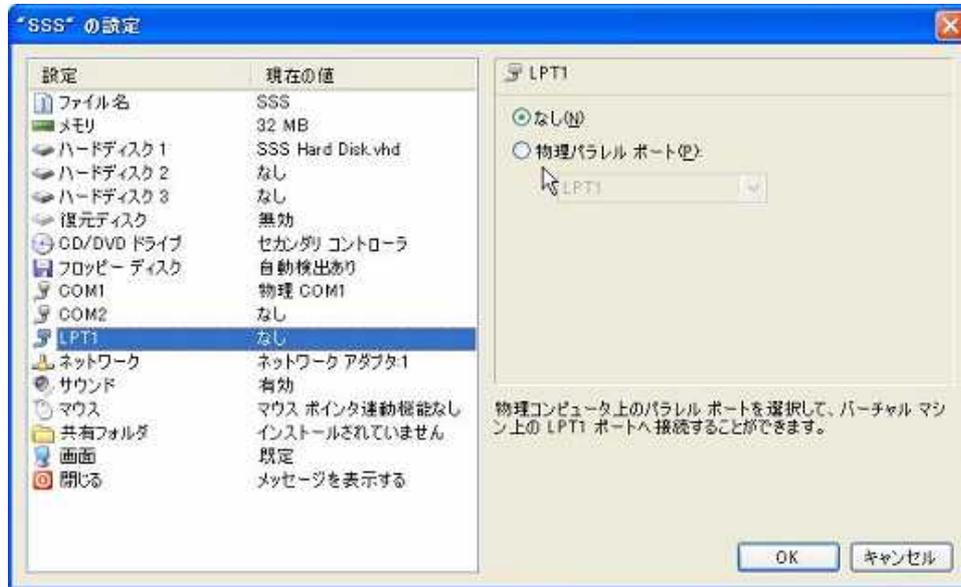
以上の設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。



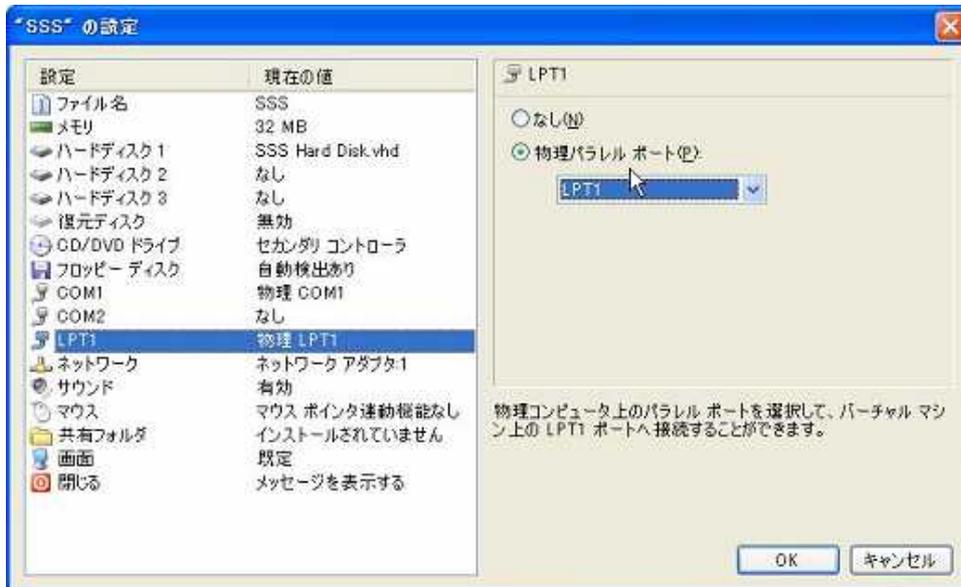
## 5-5-2 印刷設定

ローカルプリンタを使用する場合の設定方法を説明します。

1. [COM1]の設定の時と同様に、設定ダイアログのリストから[LPT1]を選択します。次の[LPT1]の設定画面が表示されます。

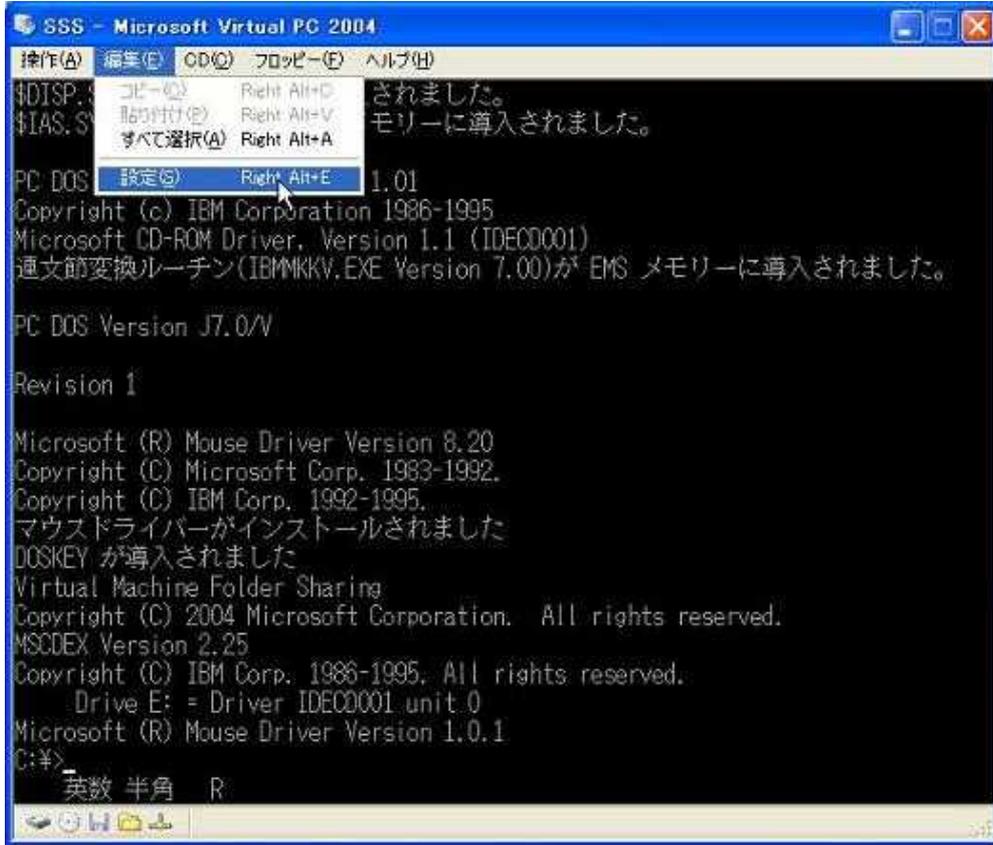


2. [LPT1]の設定画面で、”物理パラレルポート”を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

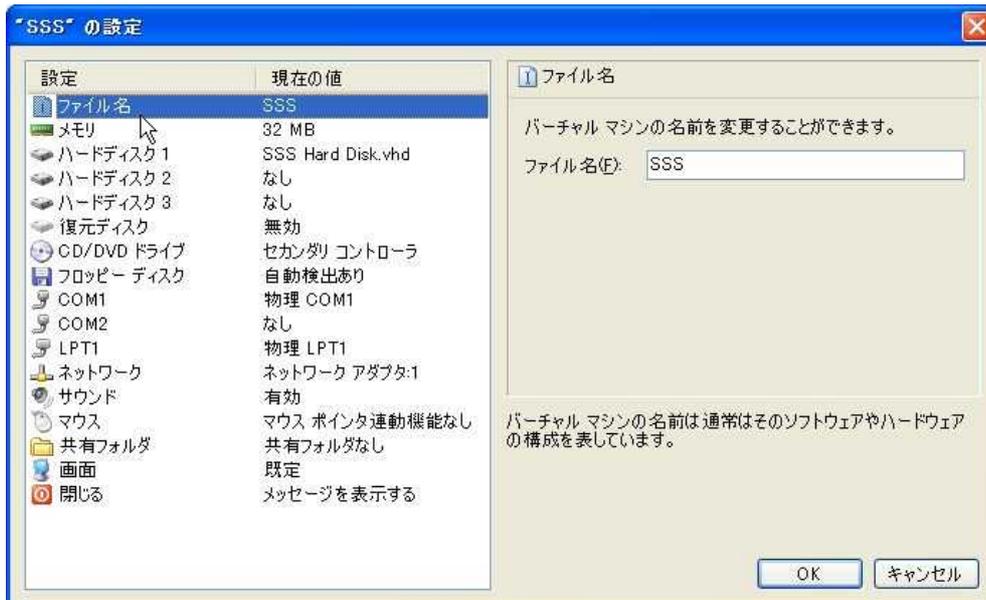


### 5-5-3 ホストパソコンとファイル共有するための設定

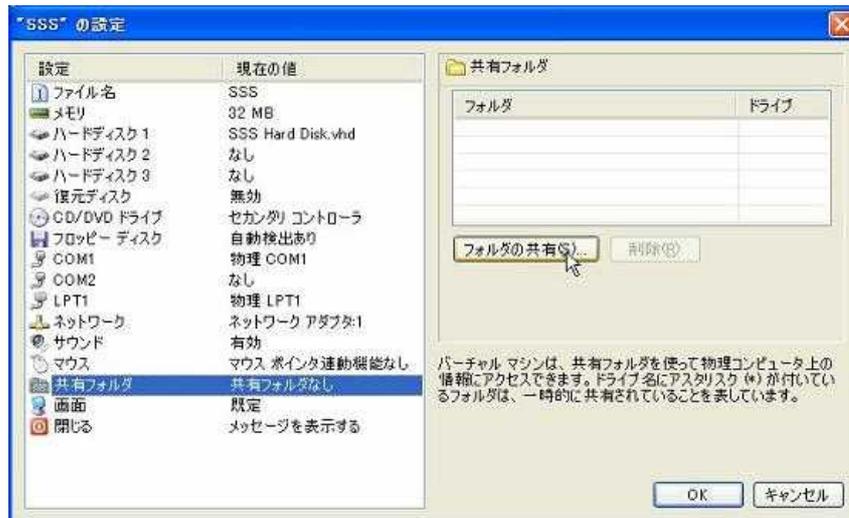
1. Virtual PC コンソールから” CVS”を選択し、[起動]ボタンをクリックします。
2. DOS の起動後、DOS のメニューから[編集 | 設定]を選択します。



3. 次の設定ダイアログが表示されます。設定ダイアログのリストから[共有フォルダ]を選択します。



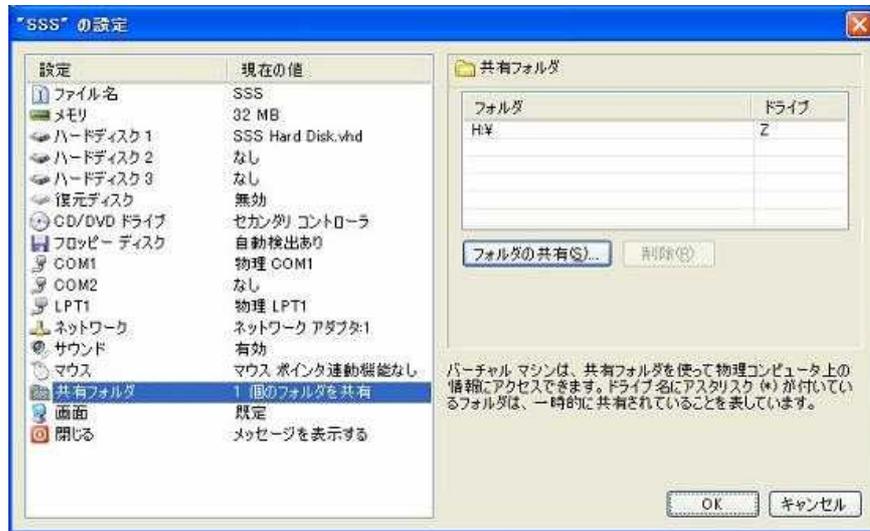
4. [共有フォルダ]の設定画面が表示されます。[共有フォルダ]の設定画面で、[フォルダの共有(S)...]ボタンをクリックします。



5. 次のダイアログが表示されます。ホストパソコンの共有したいフォルダあるいはドライブを選択し、”ドライブ文字”ボックスから任意のドライブ名を割り当てます。また、”常に共有”のチェックボックスをチェックします。以上の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



6. [共有フォルダ]の設定画面に、共有設定されたフォルダが示されます。以後”SSS”から、共有設定したホストパソコンのフォルダに、設定したドライブ名でアクセスできるようになります。



## 6 SYSMAC サポートソフトのインストール

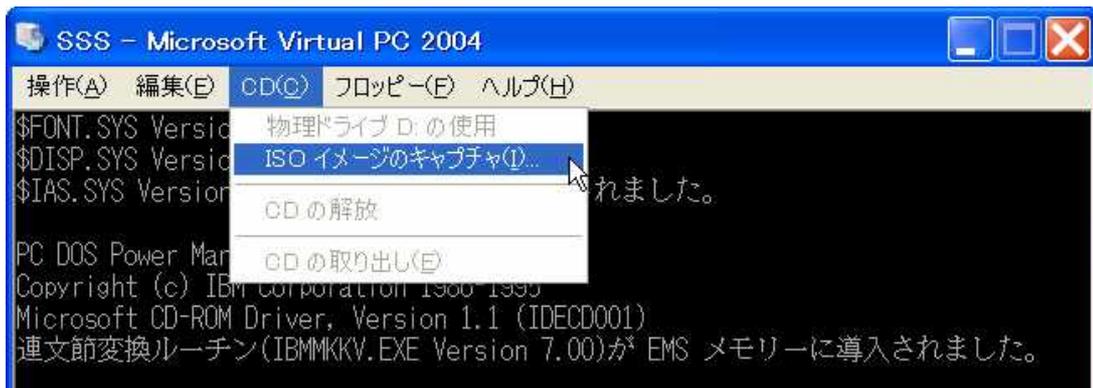
1. パソコンに”C:¥VPC”フォルダを作成し、”SSS123.ISO”ファイルをパソコンの”C:¥ VPC ”フォルダへコピーします。



2. 1 でコピーした”VPC”フォルダ内の”SSS123.ISO”ファイル上で、右クリックしてプロパティを開き、”読み取り専用”のチェックボックスのチェックをはずします。



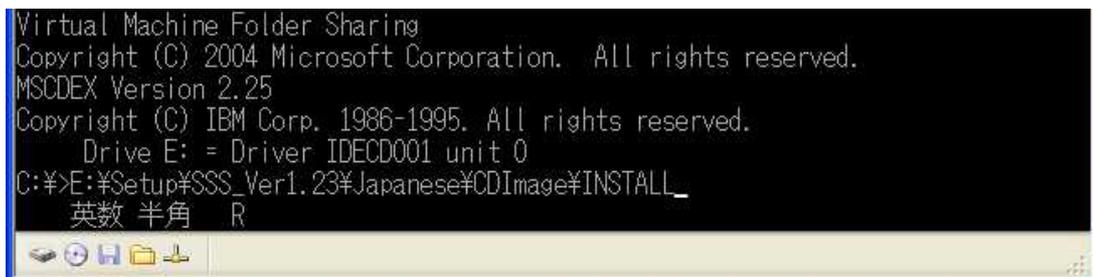
3. Virtual PC リストから”SSS”を選択し、[起動]ボタンをクリックします。
4. DOS ウィンドウのメニューから[CD | イメージのキャプチャ]を選択します。(これにより、実際のパソコンの CD-ROM ドライブではなく、CD-ROM と同じフォーマットで作成されたファイルの中にアクセスできるようになります。)



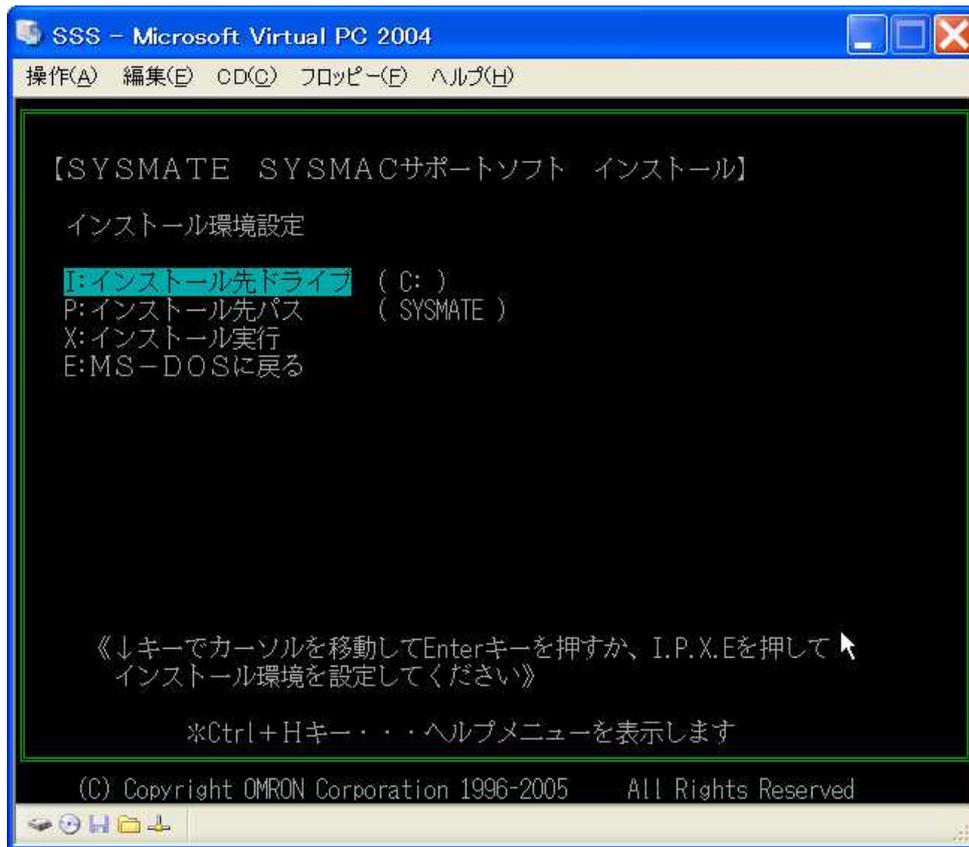
次に示すダイアログが表示されます。



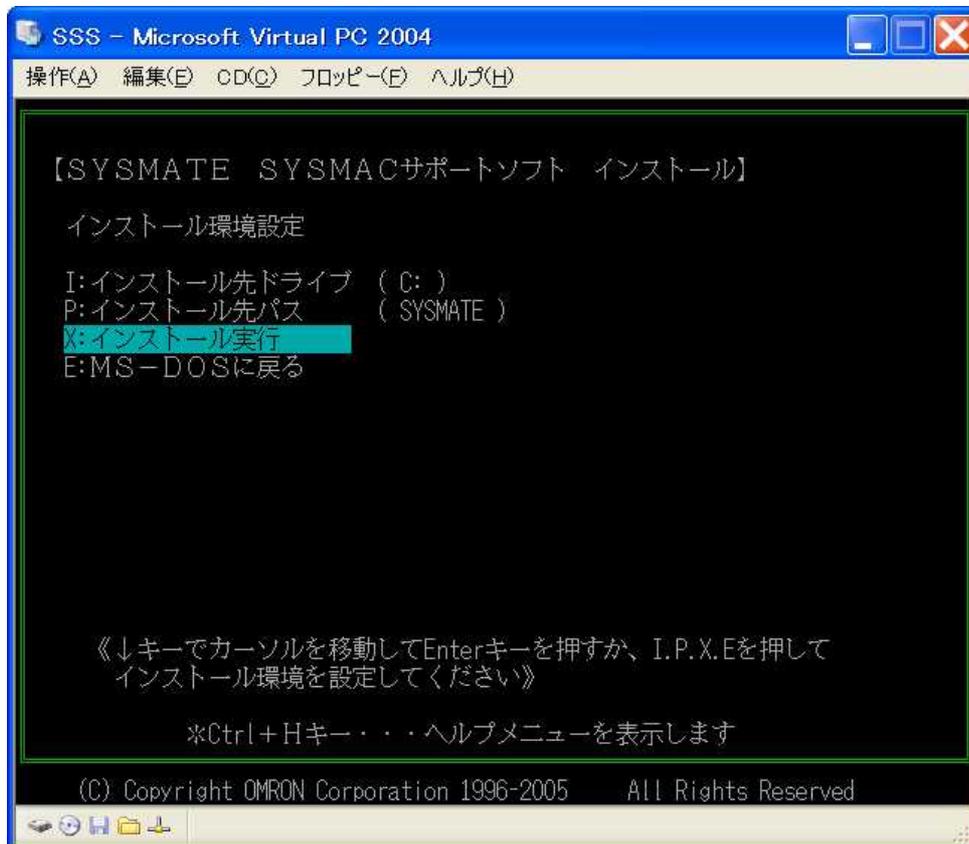
5. 1. でコピーした”C:¥ VPC ¥SSS123.ISO”ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
6. DOS の画面で”E:¥Setup¥SSS\_Ver1.23¥Japanese¥CDImage¥INSTALL[Enter]”と入力します。



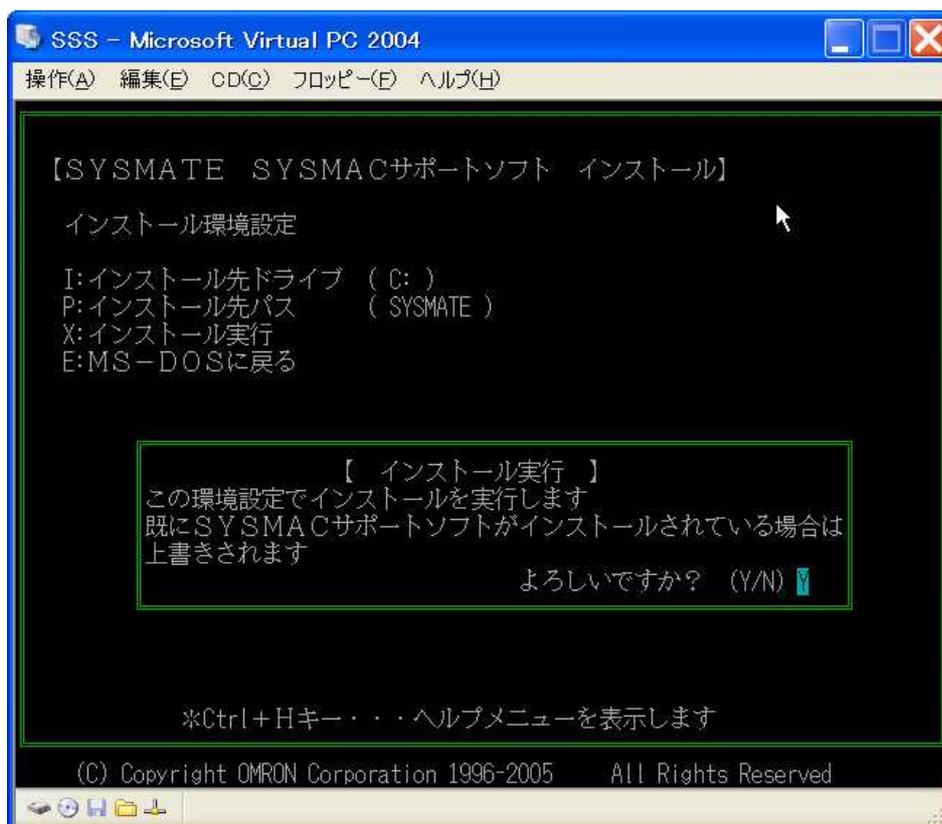
7. SSS のインストールメニューが起動されます。メニューより”I:インストール先ドライブ”を選択し、”C”を設定します。



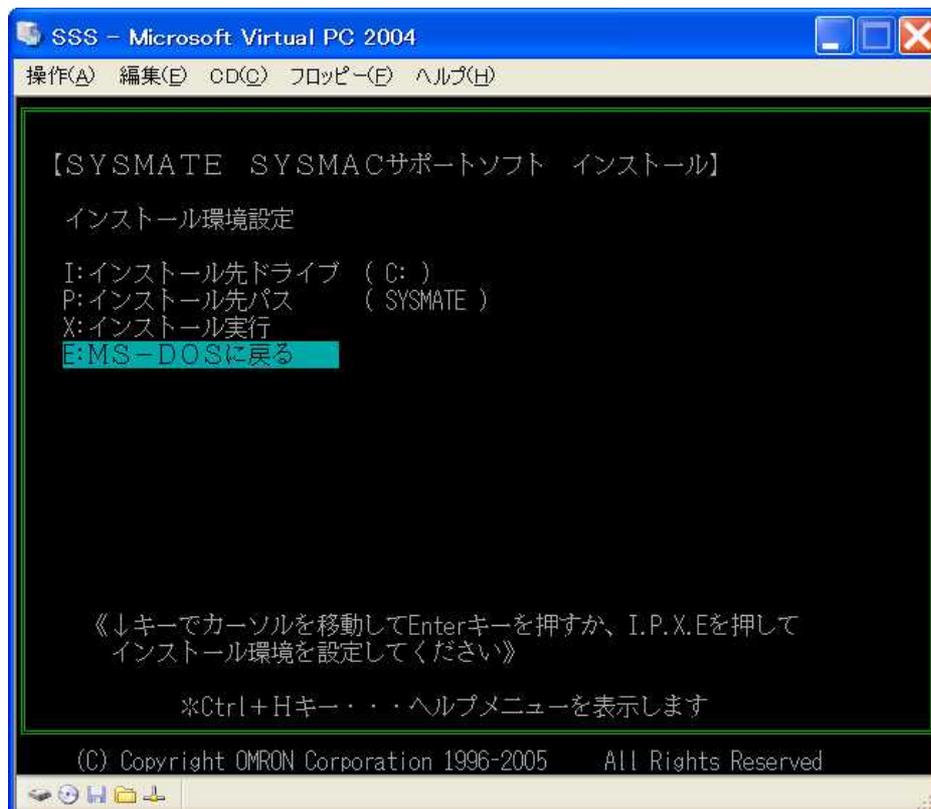
8. インストールメニューから”X:インストール実行”を選択します。



9. 示される質問に対してはすべて“Y”を選択し、インストールを実行します。



10. インストールが終了すると ESC キーを押し、インストールメニューから“E:MS-DOSに戻る”を選択しDOSへ戻ります。

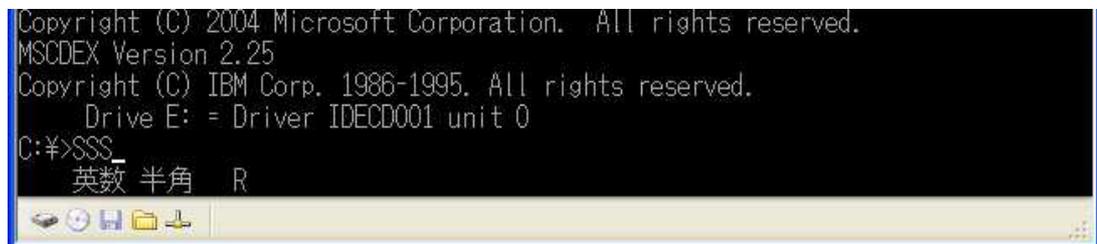


11.DOS ウィンドウのメニューから[CD | “SSS123.ISO”を解放する]を選択します。

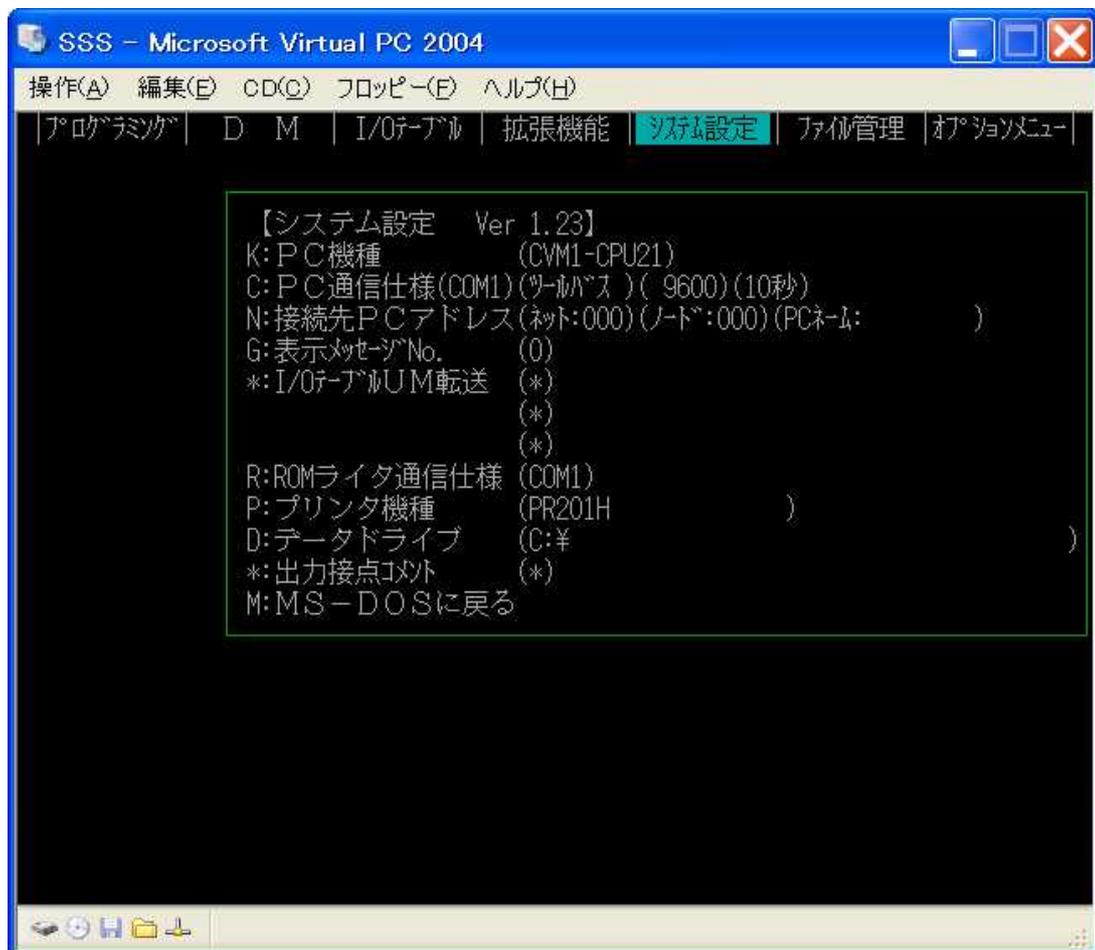


12.DOS を一度終了し、再度起動します。

13.起動後、DOS の画面から”C:¥SSS[Enter]”と入力します。



SSS が起動され、次に示す画面が立ち上がります。



注意：なお MS DOS をご利用の場合、13.の状態ではコンベンショナルメモリの空き容量が不足し、また EMS,UMB メモリが利用出来ない為、SSS を起動できません。AUTOEXEC.BAT と CONFIG.SYS を編集して、以下の内容に変更してください。

- ・ AUTOEXEC.BAT の変更内容

- (1) MSCDEX.EXE のオプションに “ / E ” を追記

- ・ CONFIG.SYS の変更内容

- DOS=HIGH に UMB を追記

- EMM386.EXE のオプションに RAM を追記

- ・ AUTOEXEC.BAT の記述例

- C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:IDECD001 /L:E /M:8 /E

- ・ CONFIG.SYS の記述例

- DOS=HIGH,UMB

- DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE RAM

## 7 制約事項

Virtual PC の共有フォルダについて、以下の制限があります。ご注意ください。

ゲストパソコンにインストールされた SSS から、共有フォルダを設定したホストパソコンのハードディスクドライブへ直接書き込むことはできません。フロッピーディスクドライブ(FD)への保存をお願いします。また SSS ファイルをホストパソコンに保存したい場合は、一旦ファイルをゲストパソコンに保存してからコピーコマンド等を使用して、ホストパソコン側にコピーして下さい。

また SSS からホストパソコンの CDROM には、アクセスできません。

## # Appendix

DOS でホストマシン上のフロッピーディスク (FD) を使用方法

1. パソコンにフロッピーディスクを挿入します。
2. メニューから[フロッピー | 物理ドライブ A]の制御を選択します。
3. 以上でフロッピーディスクにアクセスできるようになります。
4. 他のフロッピーディスクを読み込む場合、事前にメニューでフロッピー | 物理ドライブ A の解放を実行してください。

USB ポートのフロッピーディスク (FD) ドライブを使って DOS をインストールする場合

PC-DOS または、MS-DOS を FD 版でインストールするドライブが USB ポートの FD ドライブの場合、FD の交換時に FD を認識しない場合があります。その場合は、メニューより、[フロッピー | "A:" を解放する]を選択してください。

PC-DOS CD-ROM 版でのインストール方法

1. 「5-2-1 PC DOS のインストール」の 2. で、パソコンの CD ドライブに「PC DOS J2000」のインストール CD を挿入し、「起動(S)」ボタンをクリックします。
2. [フロッピー | フロッピーディスクイメージのキャプチャ] メニューを選択します。
3. [キャプチャするフロッピー イメージの選択]画面で、CD ドライブを選択し、[IMANGES]フォルダ以下の[DISK1.DSK]を選択し、[開く]ボタンを押します。
4. PC-DOS の初期画面(「5-2-1 PC DOS のインストール」の 4.の画面)が表示されます。「Enter」キーを押します。
5. PC-DOS のディスクフォーマット、インストール作業へ移行します。(「5-2-1 PC DOS のインストール」の 5. ~ 16.の手順を実行してください。)
6. ディスケットの交換画面(「5-2-1 PC DOS のインストール」の 17.の画面)が表示されます。メニューより[フロッピー | フロッピーディスクイメージのキャプチャ]で、インストール内の DISK2.DSK を選択し、[開く]ボタンを押し、その後「Enter」キーを押します。
7. その後ディスク交換画面が表示されますので、該当する番号の DISK\*.DSK を選択し、インストールを進めてください。
8. インストールが終了すると「5-2-1 PC DOS のインストール」の 18.の画面になります。その後は「5-2-1 PC DOS のインストール」の手順どおりに進めてください。
9. インストール中に、一旦 DISK1 が読みとれないというメッセージが出ることがあります。その場合 Enter キーを押すと普通に読むことができます。
10. 「5-2-1 PC DOS のインストール」の 8.の画面で、「区画をフォーマットする。」を選択して Enter を押すと、「ハードディスクのフォーマット中です。」の画面に移行します。その画面上に、「Message No.172 Not Available」「Message

No.49 Not Available」というエラーメッセージが出て、フォーマットが0%のまま、インストールが進めないことがあります。この状態で、メニューより[操作 | リセット]を選択してセットアップを終了し、プロンプト上で、「Setup.exe」を実行すると、正常に進めることができます。

#### AUTOEXEC.BAT または CONFIG.SYS を誤って編集した場合の対処方法

AUTOEXEC.BAT または CONFIG.SYS を誤って編集した場合に、バーチャルマシンの BIOS 画面を再起動すると途中で処理が止まり DOS プロンプトの表示がされない場合があります。その場合の回避策としてバーチャルマシンの BIOS 画面を閉じた後、下記の処理をお願いします。

- ・ FD 版の DOS の場合：DISK1 をフロッピーディスクドライブに挿入し、VirtualPC コンソール画面で「起動(S)」ボタンをクリックし、BIOS 画面を起動します。DOS のインストールを確認するメッセージが表示されますが、[N] を入力すると DOS プロンプトが表示されます。
- ・ CD 版の DOS の場合：パソコンの CD ドライブに「PC DOS J2000」のインストール CD を挿入し、「起動(S)」ボタンをクリックし、BIOS 画面を起動します。その画面上で、[フロッピー | フロッピーディスクイメージのキャプチャ]メニューを選択します。[キャプチャするフロッピー イメージの選択]画面で、CD ドライブを選択し、[IMANGES]フォルダ以下の[DISK1.DSK]を選択し、[開く]ボタンを押します。DOS のインストールを確認するメッセージが表示されますが、[N] を入力すると DOS プロンプトが表示されます。

その後 AUTOEXEC.BAT または CONFIG.SYS を正しく修正してください。